



議事録作成支援ソリューション

eAssistant Minutes

ユーザーマニュアル

お使いになる前に必ず本書をお読みになり、本書に従ってご使用ください。本書は大切に保管してください。

目次

1. 本書の記載内容について	6
1.1. お願い	6
1.2. ご注意	6
2. 議事録作成支援ソリューション eAssistant Minutes とは	7
2.1. 付属品	7
2.2. eAssistant Minutes でできること	7
2.3. 本体設置場所	7
3. 付属品・接続方法	8
3.1. 本体	8
3.1.1. 各部の名称及び利用について	8
3.2. オーディオアダプター	9
3.3. 音声デバイス	9
3.3.1. 据え置きマイクスピーカーフォン	9
4. 利用するには	10
4.1. 接続方法	10
4.2. コントロールアプリ	11
4.2.1. 推奨動作環境	11
4.2.2. インストール	11
4.2.3. アプリのアンインストール	13
4.2.4. アプリの更新方法	13
5. 議事録をとる	14
5.1. 本体の電源を入れる	14
5.2. コントロールアプリを起動する	14
5.3. 辞書を設定する	14
5.4. 本体に接続する	15
5.4.1. 接続先を検索して接続する	15
5.4.2. IP アドレスを入力して接続する	16
5.4.3. 接続ボタンをクリックした後 Error 画面が表示された場合	16
5.4.4. 本体接続後にメッセージが表示された場合	17
5.4.5. 接続ボタンをクリックした後 バージョンエラーのメッセージが表示された場合	17
5.4.6. 接続ボタンをクリック後 「他のユーザーが利用中です」のメッセージが表示された場合	18
5.4.7. 本体アップデートの通知について	18
5.5. 文字おこし方法を選択する	18
5.6. 会議で文字おこしする	19
5.6.1. 議事録閲覧コード	19
5.6.2. 「会議で文字おこし」を選択後、PIN コード入力画面が表示された場合	19
5.7. 会議で文字おこし) タイトルを設定する	20
5.8. 会議で文字おこし) 文字おこしを開始する	20
5.8.1. 辞書ファイルの設定エラーがでたとき	21

5.8.2. 発話の区切りについて	21
5.9. 会議で文字おこし) 発話者名を設定する	22
5.9.1. AI 話者分離について	22
5.9.2. 話者の学習について	22
5.9.3. 話者名の設定	23
5.9.4. 話者の削除	24
5.9.5. 話者の統合	24
5.9.6. AI 話者分離の注意事項	24
5.10. 会議で文字おこし) 議題を設定する	25
5.10.1. 議題を追加する	25
5.10.2. 議題を削除する	25
5.10.3. 現在議論中の議題を設定する	26
5.10.4. 議事録画面の議題の区切りの表示について	26
5.11. 会議で文字おこし) 参加者に文字おこしの画面を共有する	27
5.12. 会議で文字おこし) 文字おこしを一時停止する	27
5.13. 会議で文字おこし) 文字おこしを終了する	28
5.14. 会議で文字おこし) 手動で本体の電源を切る	29
5.14.1. 本体の電源を切る際の注意事項	29
6. オンライン会議を行う	30
6.1. オーディオアダプターで本体と WEB 会議アプリが動作する PC とを接続	30
6.2. Web 会議アプリでマイク・スピーカーデバイスを選択	30
6.3. 文字おこしを開始する	30
6.4. リモート側の発話者の設定	30
7. (参加者) 会議中の文字おこし・要約をみる	31
8. 音声ファイルから文字おこしを行う	32
8.1. 音声ファイルを設定する	32
8.2. 音声ファイルから文字おこし) タイトルを設定する	32
8.3. 音声ファイルから文字おこし) 文字おこしを開始する	33
8.4. 音声ファイルから文字おこし) 文字おこしをキャンセルする	33
8.5. 音声ファイルから文字おこし) 中止された音声ファイルの処理を再度行う	33
8.6. 音声ファイルから文字おこし) 制限について	34
8.6.1. 入力できるファイルの制限について	34
8.6.2. 音声ファイル文字おこしの処理の制限について	34
9. 会議後の議事録をみる・議事録をエクスポートする	35
9.1. 議事録をみる	35
9.1.1. コントロールアプリで文字おこした過去の議事録をみる	35
9.1.2. 他の人が作成した議事録データから議事録をみる	36
9.1.3. 議事録データのフォルダパスを知る	36
9.2. 会話音声を再生する	37
9.3. キーワード検索する	37
9.4. 発話テキストをクリップボードにコピーする	38
9.5. 話者名を編集する	38

9.6. 議事録をエクスポートする	38
10. 辞書を設定する	39
10.1. 標準辞書を設定する	39
10.1.1. 管理者メニューで標準辞書を設定する	39
10.1.2. 標準辞書の有効・無効を切り替る	40
10.1.3. 標準辞書をエクスポートする	40
10.2. ユーザー辞書を設定する	41
10.2.1. ユーザー辞書を設定する	41
10.2.2. ユーザー辞書の有効・無効を切り替る	42
10.2.3. ユーザー辞書の単語を編集する	42
10.2.4. ユーザー辞書をエクスポートする	42
10.3. 辞書の制限	43
10.3.1. 辞書のフォーマット	43
10.3.2. 辞書のエラーチェックについて	43
10.3.3. 辞書の制限	43
10.3.4. 辞書の優先について	44
11. 会議で文字おこし中に、コントロールアプリの PC を変更する（操作者の交代）	45
12. ソフトウェアアップデートをする	46
12.1. 本体のソフトウェアのアップデート	46
12.1.1. 自動モード	46
12.1.2. 通知モード	46
12.1.3. 手動モード	46
12.2. 更新ボタンから本体のソフトウェアをアップデートする	47
12.2.1. PC 側で更新ソフトウェアをダウンロードして本体を更新する	48
12.2.2. 本体アップデート終了後の確認について	49
12.3. コントロールアプリのアップデート	49
13. メニュー	50
14. 管理者メニュー	52
14.1. 管理者メニューを開く	52
14.1.1. 管理者メニューのパスワードを入力する	52
14.2. 設定	53
14.3. 議事録閲覧 Web アプリへのアクセスに HTTPS を使用する	56
14.3.1. HTTPS を使用した場合としない場合の違い	56
14.3.2. 証明書の作成・取得方法	56
14.3.3. 証明書のインストール方法	57
14.3.4. 証明書をインストールしない場合	58
14.4. 本体内の議事録データを取り出す	59
15. 制限事項	60
16. eAssistant Minutes 本体について	62
16.1. 瞬時電圧低下について	62

16.2. 海外での使用について	62
17. 困った時には.....	63

1. 本書の記載内容について

本書は、議事録作成支援ソリューション「eAssistant Minutes」のユーザー向けの操作説明書です。

1.1. お願い

- 本書ではこの製品をご使用いただくにあたり、導入者および利用者がお使いのコンピューターについて実用的な知識を持っていることを想定して説明しています。
- OS（オペレーティングシステム）に関する事については、必要に応じて OS の説明書またはヘルプ機能を参照してください。
- 本書のパソコンの画面や手順は、Windows 11 で説明しています。画面や手順は OS バージョンにより異なる場合があります。
- 本書は内容について十分注意し作成しておりますが、万一ご使用中にご不審な点・お気付きのことがありましたら、お買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様もしくは第三者がこの製品および別売品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は AI システムを搭載しています。AI システムの出力には誤りが含まれる可能性がありますので、必ず出力結果をご確認ください。
- この製品は Meta 社の Llama 3 および Swallow LLM Team の Llama3.1-swallow を使用しています。(Built with Meta Llama 3, Built with Llama)
お客様は Meta Llama 3 Acceptable Use Policy (<https://www.llama.com/llama3/use-policy/>)、
Llama 3.1 Acceptable Use Policy(https://www.llama.com/llama3_1/use-policy/)、
および Gemma Terms of Use(<https://ai.google.dev/gemma/terms>) に抵触する用途にこの製品を使用することはできません。Meta 社およびその関連会社はこの製品に関して一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

1.2. ご注意

- 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することを禁止します。
- 本書の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ユーザーマニュアルに記載している操作画面、表示されるメッセージ、名称などは改良変更などにより実際の表示と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品の名称である「eAssistant」は、登録商標です。

- ・ Windows は米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ その他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。



本製品は CE-LLM 技術搭載商品です。「CE-LLM」は、シャープ株式会社の登録商標です。

2. 議事録作成支援ソリューション eAssistant Minutes とは

議事録作成支援ソリューション eAssistant Minutes（イーアシスタントミニッツ）は、接続されたマイクデバイスから入力された音声データもしくは録音音声データから文字おこし、AI 技術により生成された議事録データを出力する機能を持ちます。本体は、議事録作成支援ソリューション「eAssistant Minutes（イーアシスタントミニッツ）」用のソフトを搭載した専用端末です。

2.1. 付属品

本体	1 台
本体用電源コード	1 本
本体用横置き用ゴム足	1 組(4 個)
はじめにお読みください	1 部
オーディオアダプター	1 台
USB ケーブル (TypeA-TypeC)	2 本

2.2. eAssistant Minutes でできること

本体に、専用のコントロールアプリから接続することで、

- 会議中の音声をリアルタイムで文字おこします。
- 会議中に、文字おこしたテキストが一定量溜まると、テキストから要約を生成します。
- 会議中は、文字おこしの内容及び要約は、URL 共有により、参加者各自の PC のブラウザ画面で閲覧することができます。

会議後は、

- 文字おこした内容から議事録を作成します。
- 過去会議の議事録データは、コントロールアプリからみることができ、議事録をエクスポートできます。

その他、

- 会議を録画もしくは録音したデータから議事録を作成します。

2.3. 本体設置場所

会議室・応接室などの会議・会話目的でかつ、静音な空間で、音声認識用のマイクデバイスがある場所。また、本体の議事録アプリの遠隔操作・議事録データ共有用にネットワーク環境が必要です。

動作環境	温度 10～35℃、湿度 20～80%（ただし、結露なきこと）
置き場所	（本体、オーディオアダプター共に）振動などのない、安定した平らな場所に置く。 本体は、放熱の為に周辺に適当なスペースを確保する。 無線通信装置から離す。（携帯電話やスマートフォン、タブレットも無線通信機器の一種です）

3. 付属品・接続方法

3.1. 本体

【電源、外形、質量】

電源	AC100V 50/60Hz
最大消費電力	約 300W
時計用バッテリー	ボタン電池
環境条件	温度 10～35℃、湿度 20～80%（ただし、結露しないこと）
外形寸法（本体）	約 100.0(幅)×310.0(奥行)×325.0(高さ)mm（突起部含まず）
質量（本体）	約 5.2kg

3.1.1. 各部の名称及び利用について

【前面側】

電源スイッチ	電源をONします
マイク入力/ヘッドホン出力端子	使用しません
SD カードスロット	使用しません
USB3.2(Gen1)Type-A コネクタ	使用しません
USB3.2(Gen2)Type-A コネクタ	使用しません
USB3.2(Gen2)Type-C コネクタ	使用しません

【背面側】

アナログ RGB コネクタ	無効になっています
HDMI®出力端子	無効になっています
USB3.2(Gen2)Type-A コネクタ	音声デバイス接続用
LINE IN 端子	使用しません
USB2.0 Type-A コネクタ	オーディオアダプター接続用
無線通信アンテナ	無効になっています
DisplayPort	無効になっています
LINE OUT 端子	使用しません
LAN コネクタ	有線 LAN 接続用
グラフィックスカード	Displayport は使用しません
PCI Express スロット	空きスロット 2 段は使用しません
電源コネクタ	電源コード接続用

3.2. オーディオアダプター

【電源、外形、質量】

外形寸法	約 29.3x93.6x15.5(高さ)mm
質量	約 45.4g
インターフェース	USB2.0 Type-C コネクタ
電源供給	バスパワー

オーディオアダプターは、eAssistantMinutes 専用のデバイスで、本体に同梱されています。また、文字おこしのために本体にケーブルで常時接続しておく必要があります。

オンライン会議を行う際に、次の機能があります。

- ・ オンライン会議の音声データを WEB 会議アプリが動作する PC から本体に送信
- ・ 本体に接続されているマイクの音声データを本体から WEB 会議アプリが動作する PC に送信

オンライン会議をする際は、Web 会議アプリが動作する PC と本体をオーディオアダプターを介して接続することで、本体に接続された音声デバイスを PC からサウンドデバイスとして認識できます。詳しくは「[4.1. 接続方法](#)」をみてください。

3.3. 音声デバイス

本体は、文字おこしをするために、マイク・スピーカーデバイスと接続します。マイクスピーカーフォンなど、USB 接続可能なデバイスを利用できます。動作確認済みの音声デバイスについては、販売店にお問い合わせください。

3.3.1. 据え置きマイクスピーカーフォン

- マイクスピーカーフォンは複数接続できません。

注意

動作確認済みデバイス以外でも、USB 接続可能な音声デバイスは利用可能ですが、デバイスが認識できず、音声認識が行えないことがあります。また、デバイスの性能によっては、音声品質が不十分となり、正確な音声認識ができない場合があります。

4. 利用するには

4.1. 接続方法

1. 本体に電源ケーブルをつなぐ。

2. 本体にネットワークケーブルをつなぐ。

注意 本体とコントロールアプリが動作する PC、議事録を閲覧する PC は、同一ネットワーク上である必要があります。
無線接続したい場合、動作確認済無線 LAN アダプターについては、販売店にお問い合わせください。

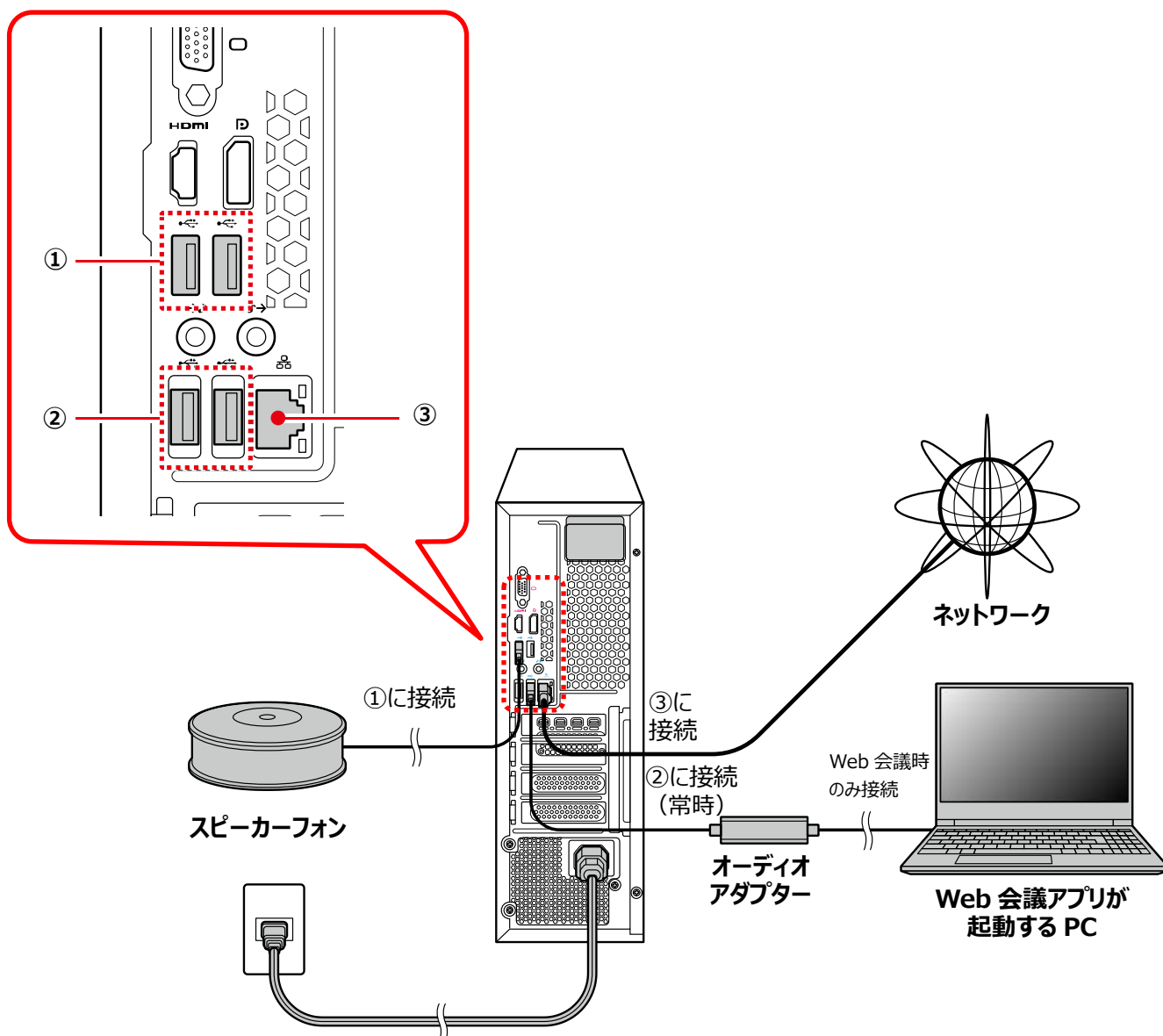
3. 本体とオーディオアダプターを短い方の USB ケーブルで接続します。

USB ケーブルは本体の背面側の USB ポート（下図②のいずれか）に接続する。

注意 オーディオアダプタは宙ぶりにせず、安定した場所に設置してください。

4. 本体と音声デバイスを接続する。

USB ケーブルは、本体の背面側の USB ポート（下図①のいずれか）に接続する。グースネックマイクなどの複数マイク利用時などで、USB ポートが足りない場合は USB ハブを利用する。



4.2. コントロールアプリ

本製品を操作するには専用のアプリケーションが必要です。以下の URL からダウンロードしてください。

議事録担当者のノート PC や、会議室に備え付けの会議用共有 PC にインストールしてください。本体とコントロールアプリは、同じネットワーク上である必要があります。

コントロールアプリダウンロードページ

<https://jp.sharp/restricted/business/eassistant/minutes/download/index.html>

4.2.1. 推奨動作環境

項目	推奨環境
OS	Windows
OS のバージョン	Windows 10(64bit) / 11

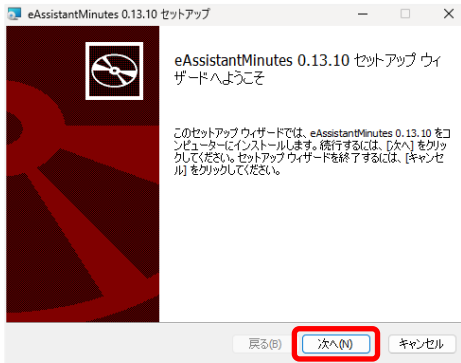
4.2.2. インストール

インストーラーをダウンロードし、インストーラー“eAssistant Minutes-x.x.x.msi”をダブルクリックしてセットアップ画面を表示してください。Windows の保護メッセージが出た場合は、詳細情報を開き、実行を選択してください。

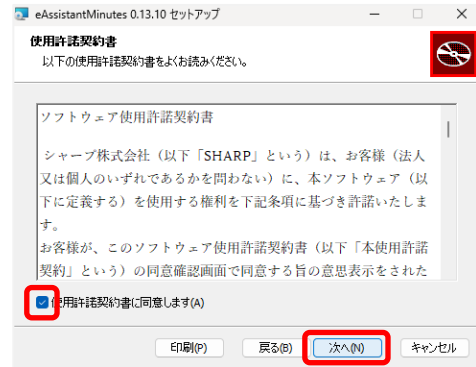


その後は、以下の手順でインストールを進めてください。

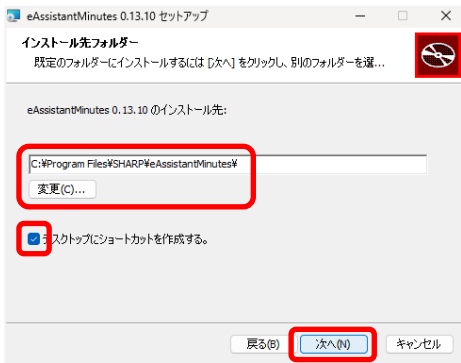
1. 次へをクリックしてください。



2. 同意しますにチェックマークを入れ、次へをクリックしてください。



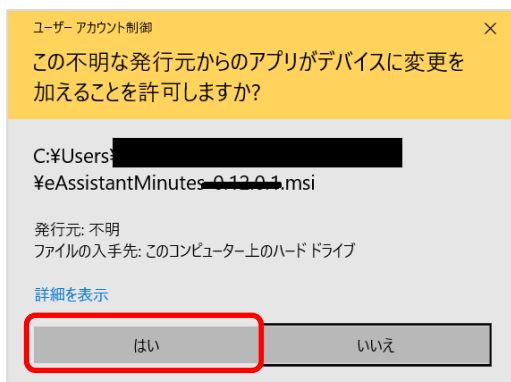
3. インストール先を指定し、デスクトップにショートカットを作成するにチェックマークを入れ、次へをクリックします。



4. インストールをクリックすると、インストールが始まります。



ユーザーアカウント制御の確認ダイアログが表示されたら、はいを選択します。

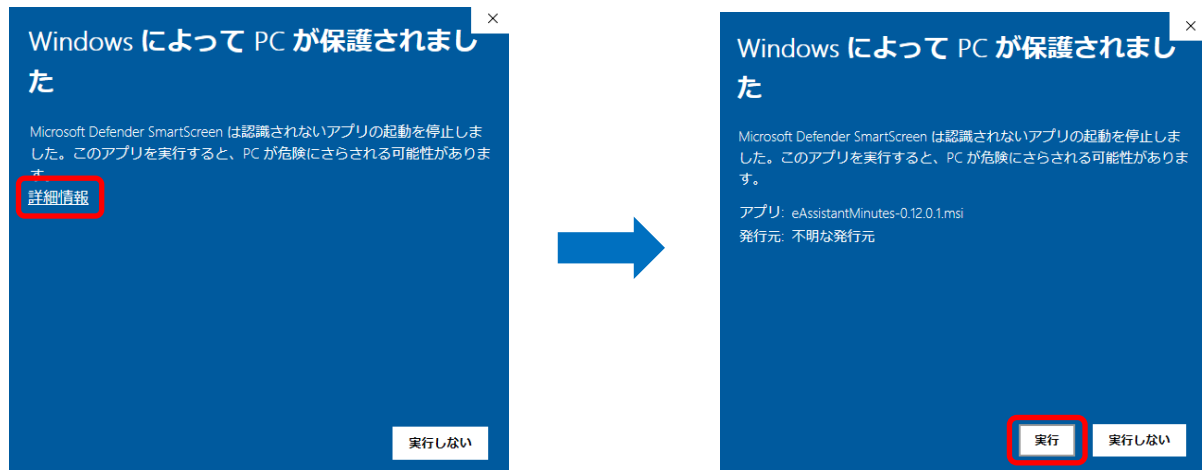


4.2.3. アプリのアンインストール

Windows アプリの標準のアンインストールの方法でアンインストールしてください。

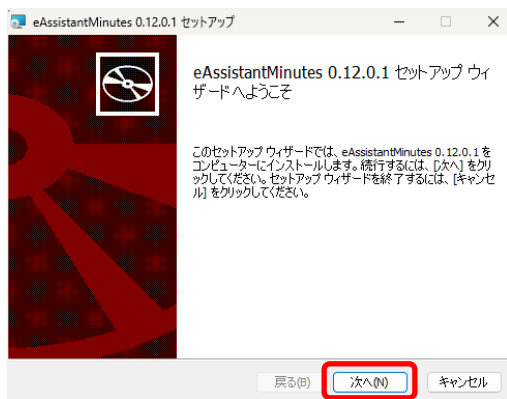
4.2.4. アプリの更新方法

インストーラーをダウンロードし、インストーラー“eAssistant Minutes-x.x.x.msi”をダブルクリックしてセットアップ画面を表示してください。Windows の保護メッセージが出た場合は、詳細情報を開き、実行を選択してください。



その後は、以下の手順でインストールを進めてください。

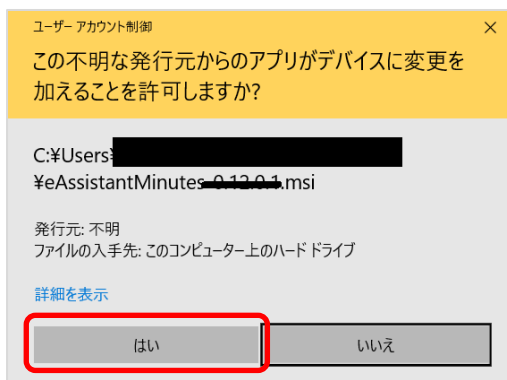
1. 次へをクリックしてください。



2. インストールをクリックすると、インストールが始まります。



ユーザーアカウント制御の確認ダイアログが表示されたら、はいを選択します。

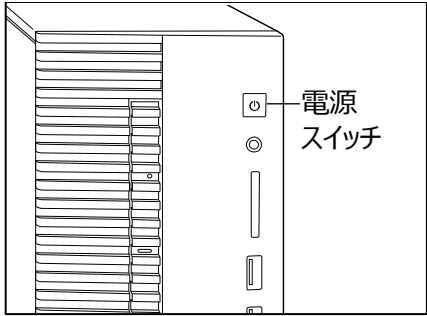


5. 議事録をとる

5.1. 本体の電源を入れる

本体の電源を入れる前に、接続しているオーディオデバイスの電源がはいっていることを確認してください。

本体の電源スイッチを押す。電源スイッチ (⏻) が点灯します。



※電源を入れる際は、電源スイッチを4秒以上押さないでください。
システムに障害が起きる原因になります。

電源スイッチと本体の状態

	状態	本体の状態
電源スイッチ (⏻)	白色の点灯	電源 ON
	消灯	電源 OFF

5.2. コントロールアプリを起動する

コントロールアプリのショートカットをダブルクリックしてアプリを起動します。

起動後、議事録をとるのモードが選択されています。

5.3. 辞書を設定する

辞書を設定することで、音声認識の精度を上げることができます。

辞書は2種類あり、本体に設定する標準辞書と、コントロールアプリで設定するユーザー辞書があります。

ユーザー辞書は、接続時にコントロールアプリで設定されたユーザー辞書を本体に送信し、文字おこし開始時に適用します。

辞書の登録方法については、「10.[辞書を設定する](#)」を参照してください。

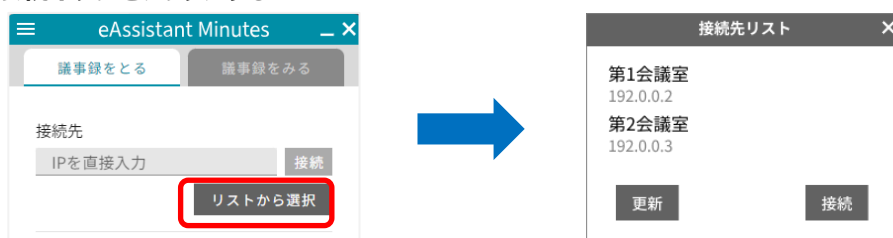
5.4. 本体に接続する

接続先を検索して接続する方法と、IP アドレスを直接入力して接続する方法の 2 通りあります。

5.4.1. 接続先を検索して接続する

コントロールアプリが動作する PC と同じネットワークに接続する本体を検出し、リストから接続先を選択して接続します。手順は次のとおりです。

1. 「リストから選択」をクリックする
2. 接続先リストが表示されるので、接続する本体を選択する
3. 接続ボタンをクリックする



上記の例の場合、「第 1 会議室」と接続するには、接続先リスト画面の「第 1 会議室」を選択し接続ボタンをクリックします。更新ボタンをクリックすると再度検索して表示します。

接続先リストには以下が表示されます。

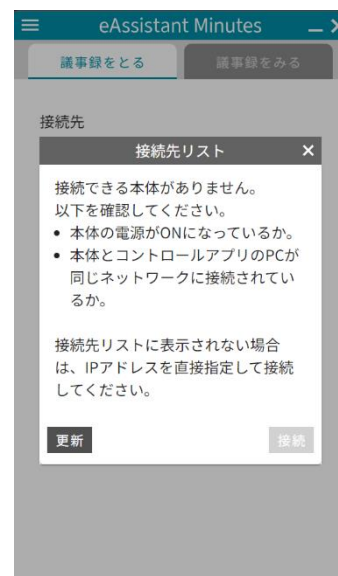
- 同じネットワークに接続されていて、電源が ON の本体
- 過去に IP アドレスの入力により接続したことがある本体

5.4.1.1. 接続先リストが一件も表示されない場合

本体を検索したときに、コントロールアプリが接続するネットワークに電源 ON になっている本体が一台も検出できない場合、以下の画面が表示されます。

「更新」ボタンをクリックする前に、以下を確認してください。

- 本体の電源が ON になっているか
- 本体とコントロールアプリの PC が同じネットワークに接続されているか
- コントロールアプリが起動する PC の Windows ファイアウォールの設定で「eAssistant Minutes Controller」アプリが許可されていること



5.4.2. IP アドレスを入力して接続する

接続先リストに表示されなかった場合は、IP アドレスを入力して接続します。

1. コントロールアプリ起動後の画面で、接続先 IP アドレスを入力します。

※IP アドレスは管理者に確認してください。



2. 接続ボタンをクリックします。

3. 文字おこし方法を選択する画面に遷移します。

一度 IP アドレスを入力して接続した本体は、次回接続時に接続先リストに表示されます。

5.4.3. 接続ボタンをクリックした後 Error 画面が表示された場合

右のような、「接続できませんでした。」の Error 画面が表示された場合は、以下の可能性があります。

- **本体の電源が入っていない場合**

対応 本体の電源を確認し、OFF の場合は、電源を ON してください。

- **本体とコントロールアプリの PC が同じネットワークに接続していない場合**

対応 本体とコントロールアプリの PC を同じネットワークに接続してしてください。

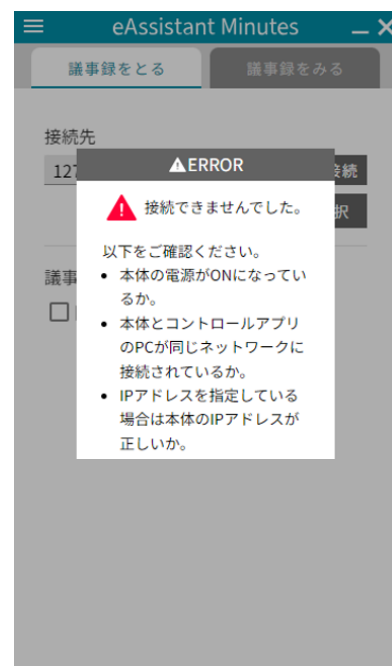
- **IP アドレスが異なる場合**

対応 IP を指定して接続する場合は、本体の IP アドレスを確認してください。

- **本体がソフトウェアアップデート中の場合**

「本体がアップデート中のため接続できません」のメッセージが表示された場合は、アップデートが終わるまでは接続できません。

対応 しばらくしてから再度接続してください。



5.4.4. 本体接続後にメッセージが表示された場合

● 本体更新の確認失敗のお知らせ

「本体の更新の確認に失敗しました」というお知らせが表示される場合があります。
文字おこしは通常通りできます。
管理メニューのソフトウェアアップデート設定で、「自動」が「通知」に設定しているに関わらず、本体が正しくインターネット接続されていない場合に表示されます。
本体のソフトウェアの更新の確認にはインターネット接続が必要です。インターネット接続にプロキシ設定が必要な場合は、管理メニューで設定してください。
更新の確認を自動で行わない場合は、管理メニューのソフトウェアアップデート設定を「手動」にしてください。
詳しくは「[12.1. 本体のソフトウェアのアップデート](#)」を参照してください。



5.4.5. 接続ボタンをクリックした後 バージョンエラーのメッセージが表示された場合

本体接続時に、アップデートが必要なことを通知するダイアログ画面が表示されることがあります。
画面内の URL リンクをクリックすると、ブラウザが起動してインストーラーのダウンロードページが表示されますので、適切なバージョンのインストーラーをダウンロードして、ダウンロードしたインストーラーをダブルクリックしてアプリケーションを更新してください。
更新方法については、「[4.2.4. アプリの更新方法](#)」を参照してください。

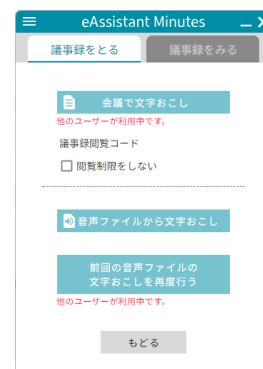


メッセージは以下の種類があります。

メッセージ	対応
対応するバージョンのコントロールアプリをインストールしてください。	本体のソフトウェアのバージョンよりコントロールアプリのバージョンが古いときに表示されます。アップデートしないと利用できません。ダウンロードページからインストーラーをダウンロードしてアップデートしてください。
対応するバージョンのコントロールアプリをインストールしてください。また、本体のバージョンアップをする場合は管理者にお問い合わせください。	本体のソフトウェアのバージョンが、コントロールアプリのバージョンより古いときに表示されます。ダウンロードページから指定されたインストーラーをダウンロードするか、本体をアップデートしてください。本体のアップデートは、管理メニューからできます。 (「 14.2. 設定 」参照。※管理メニューを利用できるのは管理者のみです。)

5.4.6. 接続ボタンをクリック後「他のユーザーが利用中です」のメッセージが表示された場合

接続ボタンをクリック後、「他のユーザーが利用中です」のメッセージが表示されている場合、他の PC のコントロールアプリから「会議で文字おこし」で利用中ですので利用できません。「もどる」をクリックして接続を解除してください。



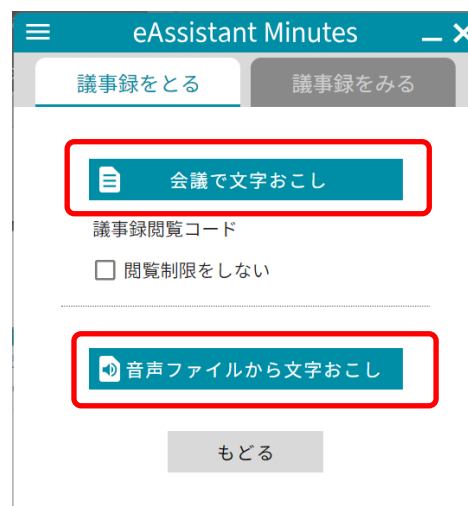
5.4.7. 本体アップデートの通知について

本体の更新がある場合、コントロールアプリに通知されます。
アプリのタイトルバーに通知アイコンが表示され、アイコンをクリックすると、本体の更新を知らせるメッセージが表示されますので、メッセージに従い本体の更新を行ってください。
(12.1.[本体のソフトウェアのアップデート](#)参照。)



5.5. 文字おこし方法を選択する

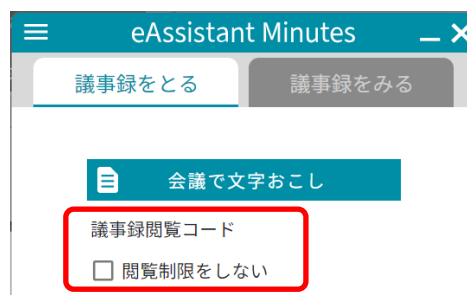
本体と接続後、文字おこし方法を選択します。
「会議で文字おこし」では、会議音声をリアルタイムで文字おこし・要約し、会議後に議事録を作成します。
「音声ファイルから文字おこし」では、音声ファイルをインポートし、議事録を作成します。(8.[音声ファイルから文字おこしを行う](#)参照)



5.6. 会議で文字おこしする

会議で文字おこしでは、会議音声をリアルタイムで文字おこし・要約し、会議後に議事録を作成します。

閲覧制限をしないにチェックを入れると、議事録閲覧コード（5.6.1）が生成されません。



5.6.1. 議事録閲覧コード

議事録閲覧コードとは、会議の参加者に対して、議事録閲覧 Web アプリへのアクセスを制限するための 6 桁の数字です。会議毎に生成されます。会議参加者は会議中に Web ブラウザから議事録にアクセスする際、コードの入力が必要となります。参加者の議事録閲覧方法については、「[7.（参加者）会議中の文字おこし・要約をみる](#)」を参照してください。

接続前に、「閲覧制限をしない」にチェックを入れると、閲覧者は閲覧コードを入力することなく閲覧が可能になります。

5.6.2. 「会議で文字おこし」を選択後、PIN コード入力画面が表示された場合

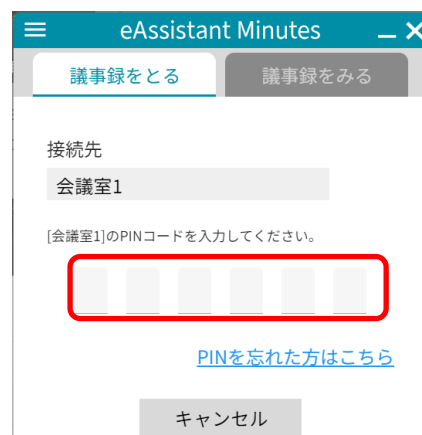
本体の PIN コード（数字 6 桁）を入力してください。

PIN コードは管理メニューで設定されています。（「[14.2 設定](#)」参照）

PIN コードは管理者に確認してください。

注意 PIN コードは半角英数字モードで入力してください。

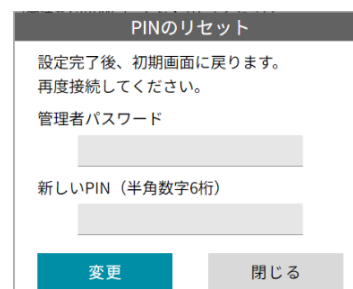
「PIN を忘れた方はこちら」で PIN コードを変更できます。※管理者のみ変更できます。（5.6.2.1. [PIN コードを忘れたときには](#)）



5.6.2.1. PIN コードを忘れたときには

PIN コードを忘れたときには、PIN コードを変更できます。※管理者のみ PIN 入力画面で「PIN コードを忘れた方はこちら」をクリックすると、右の画面が表示されます。

管理者パスワードと、新しい PIN を入力し、変更をクリックすると、PIN コードが変更されます。PIN が変更されると、本体との接続が解除されます。



5.7. 会議で文字おこし) タイトルを設定する

会議のタイトルを任意で設定できます。会議タイトルは、「日時_タイトル」がデフォルトで設定されています。クリックすると任意のタイトルに編集できます。



5.8. 会議で文字おこし) 文字おこしを開始する

「文字おこし開始」ボタンをクリックすると、文字おこしを開始します。

「文字おこし開始」ボタンは、一時停止のボタンに変わります。ブラウザが起動され、議事録画面が表示されます。



ブラウザが起動し、「文字おこし準備中です」というメッセージが消えると文字おこしが始まります。



5.8.1. 辞書ファイルの設定エラーがでたとき

文字おこし開始時に、設定された辞書を適用できなかったときに、エラーが表示されます。ファイルのフォーマットが不正の場合に表示されます。

※ 文字おこしはできますが、辞書の内容は文字おこしには反映されません。

辞書については、「10.[辞書を設定する](#)」参照してください。

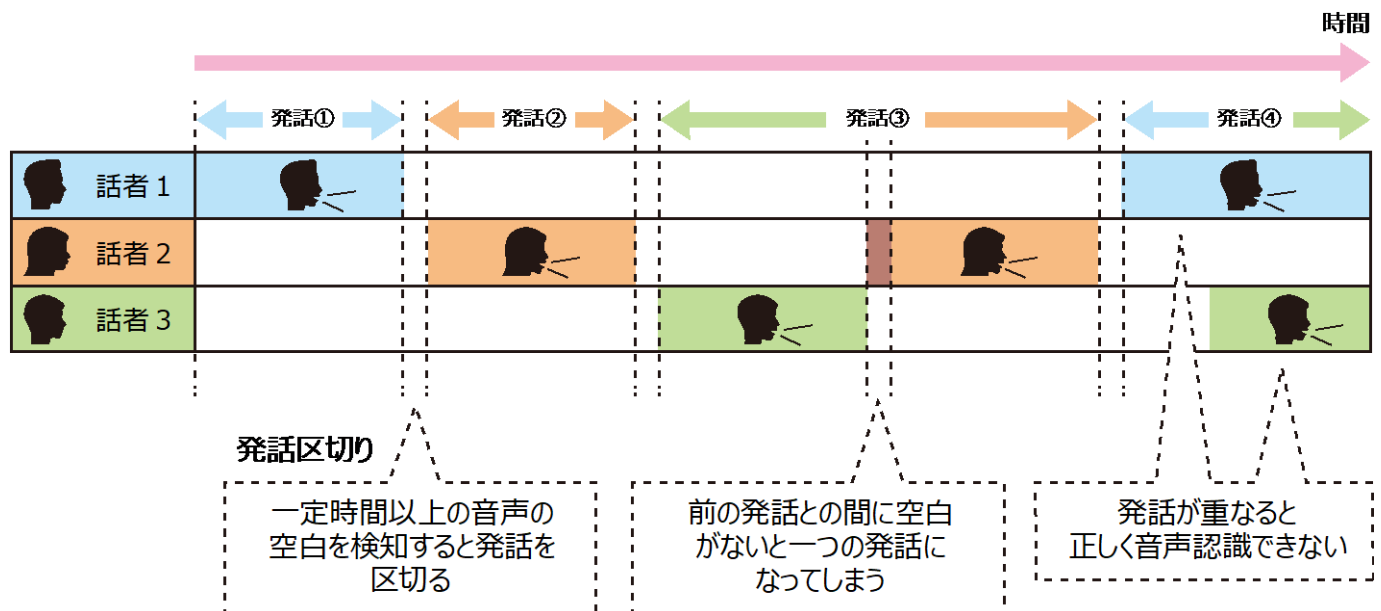


5.8.2. 発話の区切りについて

一定時間以上の音声の空白を検出すると、発話が区切られます。発話の区切りを検出した後に、音声認識が行われ、文字おこし結果が表示されます。

※ 前の発話との間に一定時間の空白がないと、連続した発話になります。

※ 複数の話者の発話が重なると正しく音声認識できません。



5.9. 会議で文字おこし) 発話者名を設定する

5.9.1. AI 話者分離について

AI 話者分離では、複数の話者が混じった音声を話者毎に分離します。オンライン会議のときは、マイク音声とスピーカー音声をそれぞれ分離します。

話者が学習されると、アイコンと話者名の入力エリアが表示されます。話者名の初期値は「話者 1、話者 2、・・・」と設定されます。話者名の入力エリアをクリックする事で、名前を変更できます。

文字おこし開始直後
(話者学習前)



1 人目の話者が
学習された時

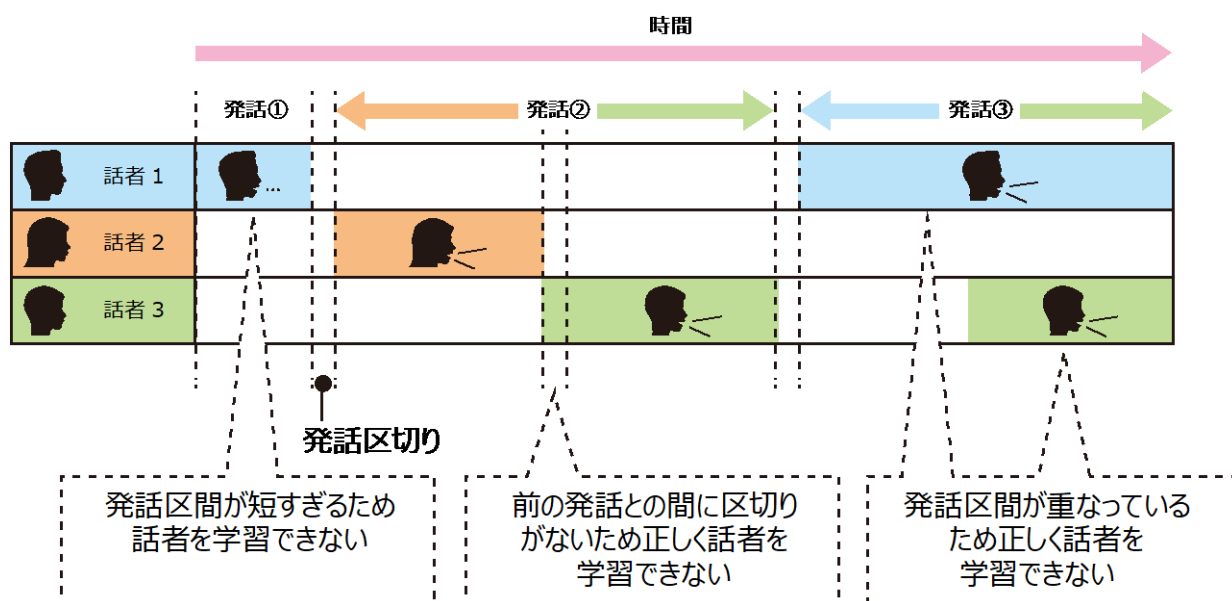


5.9.2. 話者の学習について

AI が話者を学習するには、10 秒以上の発話が必要です。

※ 前の発話との間に一定時間の空白がないと、発話が正しく区切られず、話者を正しく学習できません。

※ 複数の話者の発話が重なると正しく話者を学習できません。

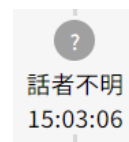


学習済みの話者と声の特徴が一致する場合、同じ番号で表示されます。

声の特徴が一致しない場合は、その話者の声の特徴を新たに学習し、新しい番号が割り振られます。

話者不明と表示される場合は、以下の理由が考えられます。

- 発話が 10 秒以下のため
発話が短いと、学習および学習済の話者との識別ができません。
- 学習できる最大話者数(30 人)に達しているため



話者登録に失敗した場合



話者登録に成功した場合

5.9.3. 話者名の設定

AI 話者分離によって話者登録されると、登録された話者に対して話者名を設定できるようになります。

話者名は、マイク、リモートそれぞれ最大 30 人まで設定することができます。設定した話者名は、議事録画面に反映されます。

話者名設定前

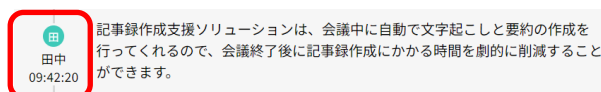
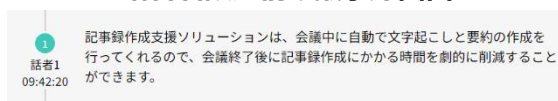


話者名設定前の議事録画面

話者名設定後



話者名設定後の議事録画面



WEB 会議のリモート側の参加者に対して話者名を設定する場合はリモートを押してください。



※四角の枠で囲まれたアイコンは、
リモートの発話者を表します。

5.9.4. 話者の削除

登録された話者は話者名の右に表示されている×印をクリックすることで、削除することができます。議事録画面では、話者が削除された発話は、話者不明として表示されます。

話者は最大 30 名学習できますが、会議の参加者が多い場合などで学習済話者数の上限に達してしまった場合に、間違って学習された話者や、発話数が少ない話者を削除することによって学習できる話者の枠を確保することができます。

話者名を統合(「[5.9.5 話者の統合](#)」参照)した場合、統合された話者は個別に削除できなくなりますが、統合された話者グループの一番上の話者を削除すると、まとめて削除されます。



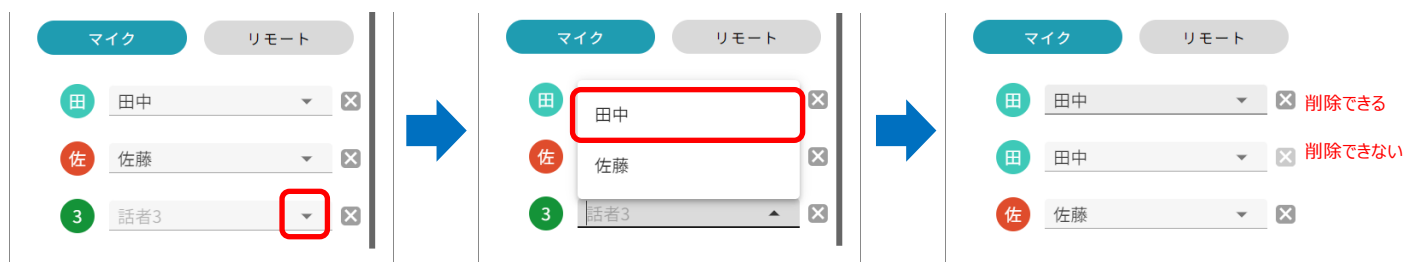
5.9.5. 話者の統合

発話環境や声質によっては、同一話者の発話であっても、別の話者として表示される場合があります。その場合は、新しく表示された話者の話者名を、既存の話者名と同じにすることで、同一人物の発話として設定することができます。

下記は、「話者 3」を、学習済の「田中」と設定する場合の例です。既存の話者名を設定すると、話者リストの表示の順番が変わり、統合した話者の下に配置されます（話者のグループ化）。

話者名の統合を行っても、学習済話者数の数は変わりません。例の場合、「田中」と「話者 3」で、統合前後で変わらず、2 人分の話者の枠を使っていることになります。

統合された話者（例でいうと、「話者 3」の話者データ）は、削除することができなくなりますが、話者グループの一番上の話者を削除すると、まとめて削除されます。（例でいうと、2 人分の話者データが削除されます。）

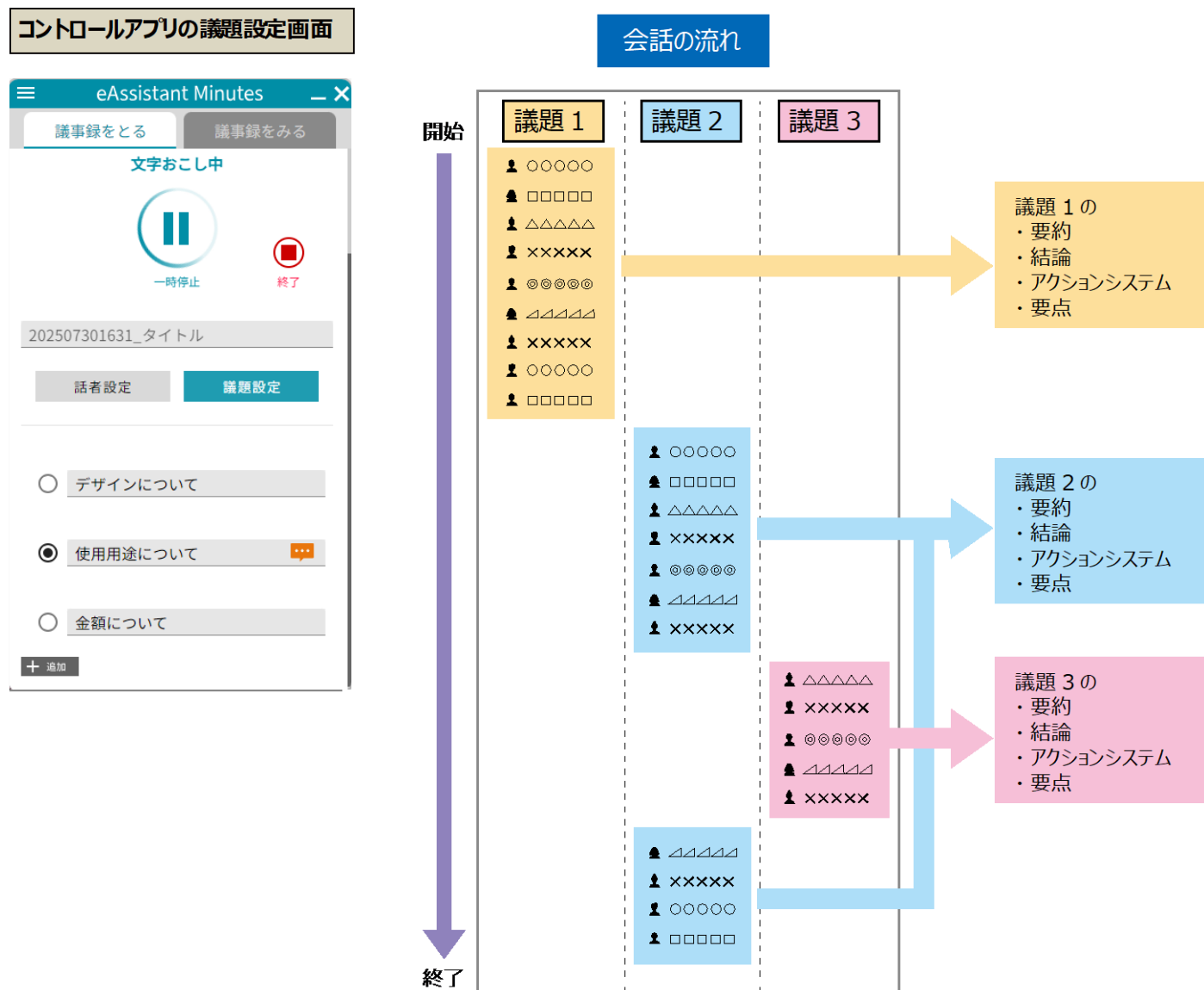


5.9.6. AI 話者分離の注意事項

- 学習できる話者の最大数は、マイク 30 人、リモート 30 人です。話者を統合した場合でも、統合する前の数でカウントされます。
- 話者分離は、話し方や利用する環境の影響を受けるため、正しく分離できない場合があります。

5.10. 会議で文字おこし) 議題を設定する

コントロールアプリで議題メニューを選択し、議題を設定します。会議で議論される議題をあらかじめ設定しておき、会話に応じて現在会話中の議題を指定することで、会議後に作成する議事録を議題毎にまとめることができます。



5.10.1. 議題を追加する

追加ボタンで議題を追加できます。

議題は、文字おこしを始める前でも設定できます。

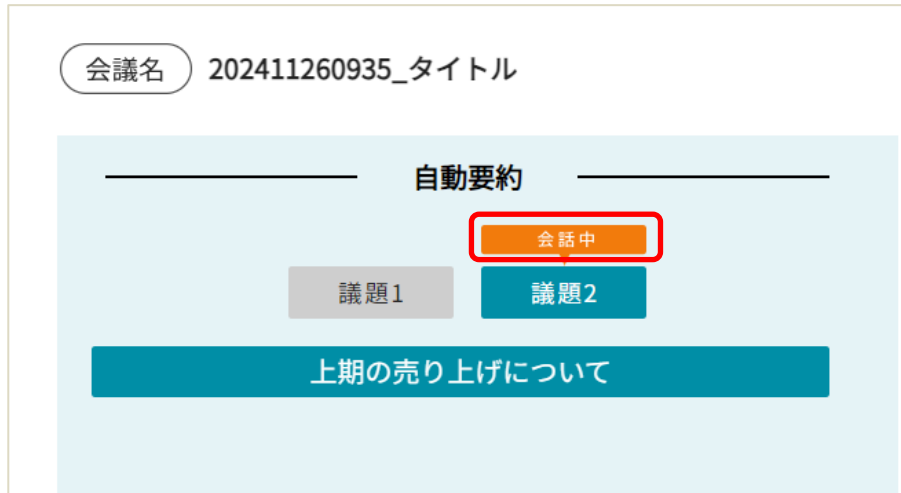
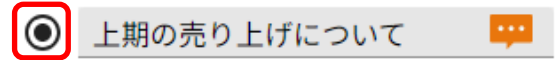
5.10.2. 議題を削除する

文字おこしを始める前は、×ボタンから議題を削除できます。

文字おこしを始めた後は、議題の削除はできません。

5.10.3. 現在議論中の議題を設定する

議題の先頭のラジオボタンを選択して、現在会話中の議題を設定します。
自動要約は、選択中の議題の中に作成されます。議事録閲覧画面の自・議事録画面を閲覧している参加者も現在会話中の議題がわかります。



5.10.4. 議事録画面の議題の区切りの表示について

議事録画面の「全ての会話」の中で、議題が切り替わった箇所に議題の区切りが表示されます。



5.11. 会議で文字おこし) 参加者に文字おこしの画面を共有する

参加者は、個人の PC 等で、ブラウザから議事録閲覧画面の共有 URL にアクセスすることで文字おこしの画面を閲覧することができます。ブラウザは、Chrome か Edge を推奨しています。

「議事録閲覧 URL」横のコピーアイコンをクリックすると、クリップボードに URL が議事録閲覧コード付きでコピーされます。チャットやメール等のツールを使って会議の参加者に URL を共有することによって、参加者に会議中の議事録を共有できます。

「議事録閲覧コード」横のコピーアイコンは、6 桁の議事録閲覧コードをクリップボードにコピーできます。

注意 議事録を閲覧するには、本体やコントロールアプリが動作する PC と同じネットワーク内である必要があります。



共有 URL の詳細

- ① 議事録閲覧コードが設定されている場合

<http://1a.bb.cc.dd:1234?code=123456>

本体の IP アドレス:ポート番号

議事録閲覧コード (コードは会議毎に設定されます)

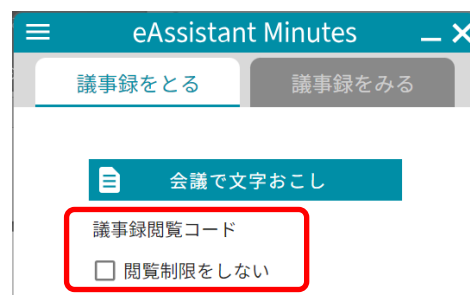
- ② 議事録閲覧コードが設定されていない場合

<http://1a.bb.cc.dd:1234>

本体の IP アドレス:ポート番号

議事録閲覧コードを設定するかどうかは、接続前に指定することができます。

(「[5.6.1. 議事録閲覧コード](#)」参照)



5.12. 会議で文字おこし) 文字おこしを一時停止する

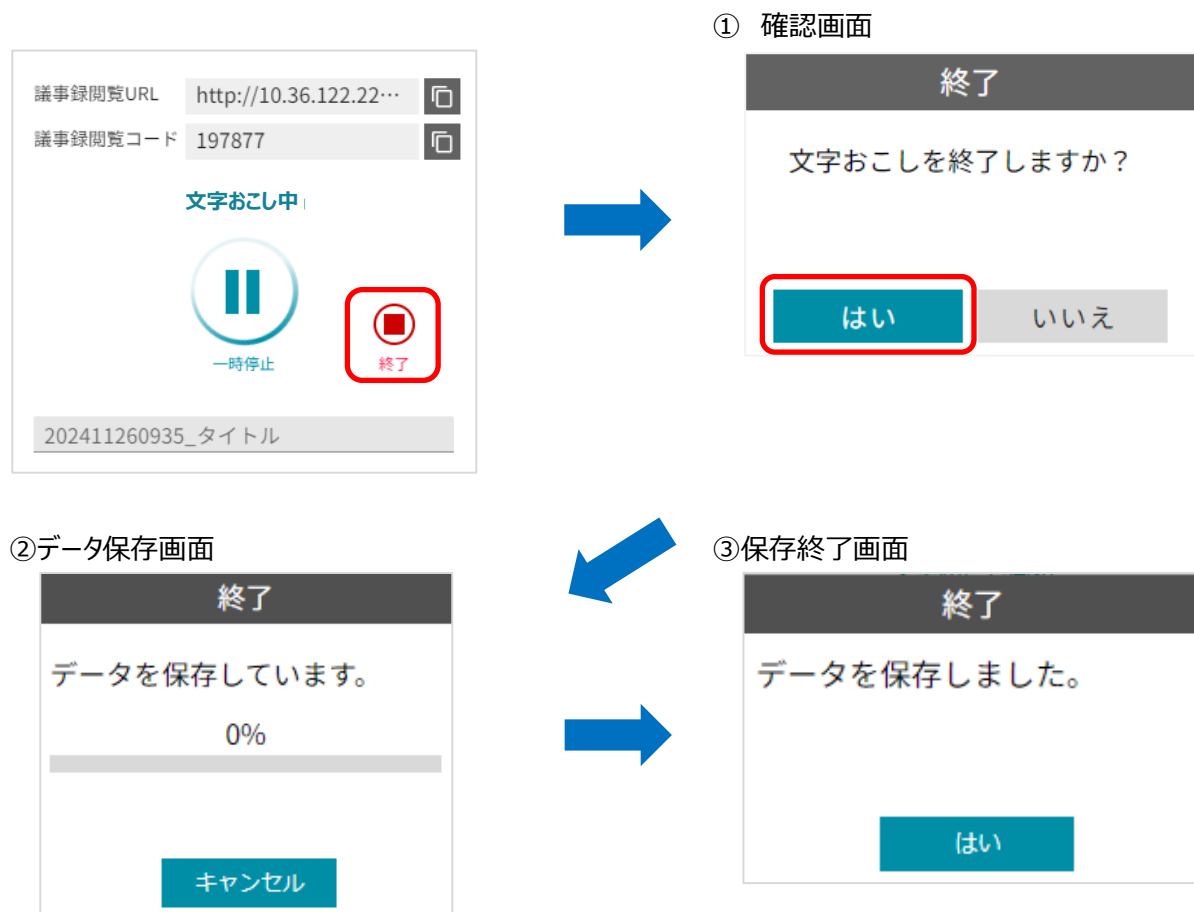
一時停止ボタンをクリックすると、文字おこしを停止します。

停止中に再度ボタンをクリックすると、文字おこしを再開します。



5.13. 会議で文字おこし) 文字おこしを終了する

停止ボタンをクリックすると、文字おこしを停止し、確認ダイアログが表示されます。ダイアログ画面で、「はい」を選択してください(①)。データ保存画面(②)になり、保存終了後、「データを保存しました。」のメッセージが表示されます。(③)データ保存終了後に、「本体の電源を切りますか？」というメッセージが表示された場合は、「はい」を選択すると本体の電源が切れます。



保存時の注意

- 保存時に本体からコントロールアプリが動作する PC に議事録データを送信します。保存には、数分かかることがあります。
- 保存中にネットワーク接続を切ったり、コントロールアプリを終了したり、PC をログオフしたり、PC もしくは本体の電源を切ったりしないでください。本体と PC 間のネットワークが不安定になると、保存に失敗する場合があります。
- 保存に失敗した場合、管理メニューから議事録データを取得できる場合があります。管理メニューの「データを管理」を参照してください。(「[14.4 本体内の議事録データを取り出す](#)」参照。※管理メニューを利用できるのは管理者のみです。)
- 保存時に「本体の電源を切る」を選択したとき、アップデートのダイアログ画面が表示することがあります。その画面は、本体のソフトウェアのアップデートがあるときに表示されます。アップデートには数十分かかります。電源を切る前にアップデートを行うかどうかを、ダイアログ画面で選択してください。

データは、指定したフォルダに、result_YYYYMMDD_HHSSMM (※YYYYMMDD_HHSSMM には、開始日時を示す数値が入ります) という名称で保存されます。初期の保存フォルダはマイドキュメントです。保存フォルダは、メニューの「フォルダ設定」でできます。([13. メニュー](#) 参照)

5.14. 会議で文字おこし) 手動で本体の電源を切る

三本線マークをクリックすると、本体の電源 OFF というボタンが表示されます。

クリックすると、本体の電源が切れます。



5.14.1. 本体の電源を切る際の注意事項

- 文字おこしの最中に本体の電源を切らないでください。故障したり議事録データを失うおそれがあります。文字おこしを終了後、コントロールアプリから本体の電源を切るようにしてください。
- 本体の電源スイッチで電源を切らないでください。作業中に電源スイッチで電源を切ると、故障やデータ消失の原因になります。なお、システムの異常などで強制的に電源を切りたい場合は、電源スイッチを 4 秒以上押し続けると電源が切れます。その際、状況によって議事録のデータは消失する可能性があります。
- 電源を切ったあと、もう一度電源を入れる場合は、5 秒以上たってから入れてください。5 秒以上経過していない場合は、誤動作することがあります。

本体のソフトウェアアップデートがある場合に、アップデートの確認ダイアログが表示される場合があります。アップデートには数十分かかります。電源を切る前にアップデートを行うかどうかを、ダイアログ画面で選択してください。（[12.1.1「自動モード」](#)参照）

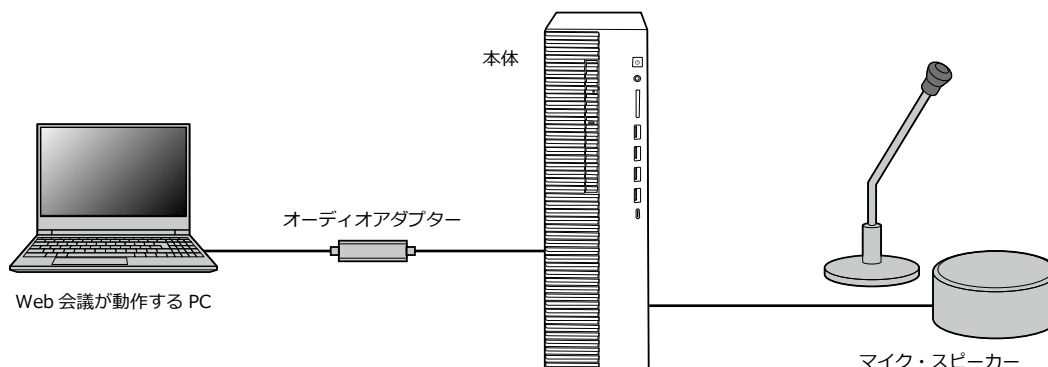
6. オンライン会議を行う

オンライン会議は、Web 会議アプリが動作する PC が必要です。Web 会議アプリが起動する PC と、コントロールアプリが起動する PC は同じでもかまいません。

6.1. オーディオアダプターで本体と WEB 会議アプリが動作する PC とを接続

Web 会議をする PC と、本体をオーディオアダプターを介して USB ケーブルで接続します。

詳細な接続方法については、「[4.1. 接続方法](#)」の説明を参照してください。



6.2. Web 会議アプリでマイク・スピーカーデバイスを選択

Web 会議アプリのマイク・スピーカーデバイス設定で、以下のデバイスを選択します。

デバイス種類	デバイス名
マイク	USB AUDIO CODEC
スピーカー	USB AUDIO CODEC

6.3. 文字おこしを開始する

Web 会議を開始し、コントロールアプリで文字おこしを開始ボタンをクリックして、文字おこしを開始すると、リモート側の音声（スピーカーの音声）と、マイクの音声を両方文字おこしできます。本体の電源が入っていないと、Web 会議を開始してもリモート側にマイク音声は送信されず、リモート側の音声もスピーカーから流れないので注意してください。

6.4. リモート側の発話者の設定

WEB 会議のリモート側の参加者に対して話者名を設定する場合は、話者設定の画面でリモートを押してください。リモート側の話者は話者アイコンが四角の枠に囲まれています。



7.（参加者）会議中の文字おこし・要約をみる

会議の参加者は、以下の手順で会議中の議事録を見ることができます。

1. ブラウザ(Chrome もしくは Edge を推奨)を起動

2. URL を入力

コントロールアプリの操作者から通知された共有 URL（例：http://10.36.122.225:3000/）をブラウザのアドレスバーに入力します。

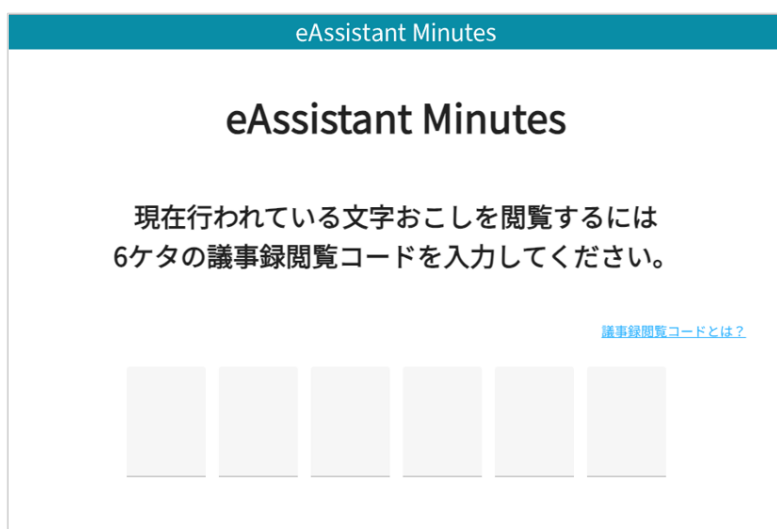
注意 ブラウザが起動する PC が本体と同じネットワークに接続されている必要があります。



3. 議事録閲覧コードの入力の画面が表示されたとき

コントロールアプリの操作者から通知された閲覧コードを入力すると議事録画面が表示できます。

閲覧コードは文字おこし毎に異なります。



注意 閲覧コードは半角英数で入力する必要があります。



8. 音声ファイルから文字おこしを行う

外出先などで録音および録画したファイルから「会議で文字おこし」のときと同様のフォーマットで議事録を作成できます。

8.1. 音声ファイルを設定する

音声ファイルから文字おこしでは、音声ファイルをインポートする事でその音声の文字おこしをすることができます。

本体と接続し、「音声ファイルから文字おこし」を選択すると、以下の画面が表示されます。

音声ファイルをドラッグ & ドロップするか
ファイルダイアログ画面からファイルを選択
すると、インポートされます。



8.2. 音声ファイルから文字おこし) タイトルを設定する

タイトルを任意で設定できます。タイトルは、「音声ファイル_日時」がデフォルトで設定されています。クリックすると任意のタイトルに編集できます



8.3. 音声ファイルから文字おこし) 文字おこしを開始する

文字おこし開始ボタンをクリックすると、ファイルが本体にアップロードされ、議事録データを生成します。議事録データ生成中は、残り時間が表示されます。生成後、コントロールアプリの PC に議事録データがダウンロードされます。ダウンロード後は、接続が解除され、接続前の画面に戻ります。生成された議事録は「議事録をみる」の一覧に追加されます。



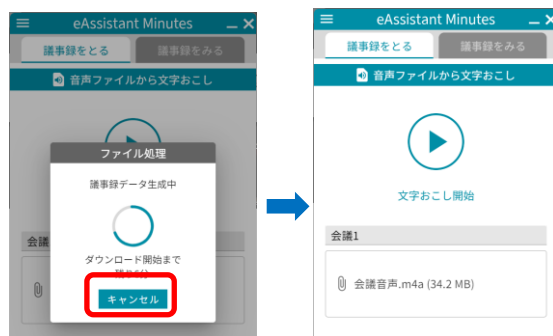
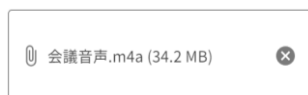
注意

- ファイルアップロード中・議事録データ生成中は、コントロールアプリが起動する PC をスリープモードにしたり、ネットワークの接続を切ったりしないでください。本体との接続が切れると処理が中止されます。
- 日本語のみ文字おこしできます。音声ファイルに日本語の発話が発検できなかった場合、処理後にメッセージが表示されます。音声ファイルを確認してください。

8.4. 音声ファイルから文字おこし) 文字おこしをキャンセルする

音声ファイルから文字おこし中に「キャンセル」ボタンをクリックすると、文字おこし開始前の状態に戻ります。アプリにインポートした音声ファイルは残っていて、もう一度文字おこしを開始する事ができます。

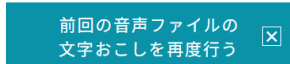
また、音声ファイルを削除したい場合は、音声ファイルのエリア上にマウスカーソルを合わせると削除 (×) ボタンが出現し、クリックすると削除できます。



8.5. 音声ファイルから文字おこし) 中止された音声ファイルの処理を再度行う

音声ファイルからの文字おこしの処理をキャンセルした、もしくは処理が途中で終了した場合、再度本体と接続すると、「前回の音声ファイルの文字おこしを再度行う」というボタンが表示されます。選択すると、すぐに前回指定した音声ファイルの文字おこしが始まります。

また、前回の音声ファイルを削除したい場合は、ボタンの上にマウスカーソルを置くと削除 (×) マークが現れ、クリックすると削除されます。



8.6. 音声ファイルから文字おこし) 制限について

8.6.1. 入力できるファイルの制限について

- 対応しているファイルのフォーマットは以下です。それ以外のファイルは受け付けられません。
音声 : WAV / MP3 / WMA / M4A / AAC
動画 : WMV / AVI / MP4 / MV4
- 入力するファイルの音質によっては、正確な音声認識ができない場合があります。
- 入力できるファイルサイズの上限は 16GB です。それ以上のファイルは受け付けられません。
- 入力できるファイルの再生時間は最大 24 時間です。本体にアップロードし、ファイル処理後に接続が解除され、メッセージが表示されます。
- 処理可能なファイルは 1 ファイルのみです。複数ファイルの同時処理には対応していません。

8.6.2. 音声ファイル文字おこしの処理の制限について

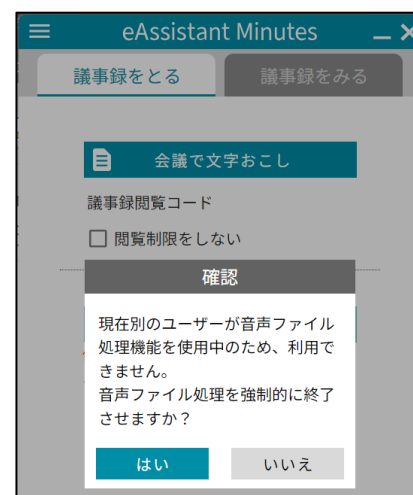
音声ファイル文字おこしは、「会議で文字おこし」機能との併用や、複数の音声ファイルの同時処理はできません。

以下の場合、音声ファイルからの文字おこしが途中で終了し、本体との接続が切断されます。

- ① 別の PC のコントロールアプリから同じ本体に接続して「会議で文字おこし」を選択した時
- ② ネットワークエラーが生じた時
- ③ 本体の電源が切られた時
- ④ コントロールアプリを終了した時
- ⑤ コントロールアプリが起動する PC の電源が切られた時

注意 途中で処理が終了したとき、文字起こしデータや議事録データは残っていません。ただし、議事録生成後の PC へのダウンロード中に異常が発生したとき、議事録データが本体に残る可能性があります。(14.4 [本体内の議事録データを取り出す](#)参照)

- 注意**
- 「会議で文字おこしの処理」が優先されます。
音声ファイルから文字おこし中に、別の PC のコントロールアプリから同じ本体に接続して「会議で文字おこし」を選択すると、強制終了の確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、音声ファイルから文字おこしの処理は終了され、本体との接続は解除されます。
 - 音声ファイルから文字おこし中に、同じ本体に他の PC から接続して音声ファイル文字おこしを開始する事はできません。



9. 会議後の議事録をみる・議事録をエクスポートする

9.1. 議事録をみる

議事録をみる方法は以下の2種類があります。

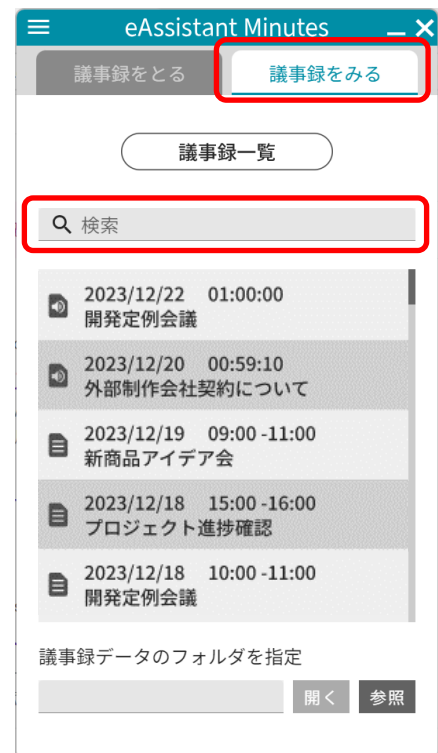
9.1.1. コントロールアプリで文字おこした過去の議事録をみる

コントロールアプリ起動時の画面で、過去に文字おこした議事録を見ることが出来ます。

「議事録をみる」をクリックして、議事録一覧から閲覧したい議事録のタイトルを選択すると、別ウィンドウで議事録が開きます。

検索エリアに文字を入力して過去の議事録のタイトルを検索できます。

「会議で文字おこし」で作成された議事録と、「音声ファイルから文字おこし」で作成された議事録はタイトルの左端に表示されているアイコンが異なります。



議事録閲覧ウィンドウ



注意 過去の議事録を開いたときに、会議が短い場合など、会議中に自動要約の生成回数が5回未満の場合は、議事録データ（議題、結論、アクションアイテム、要約）が生成されないことを知らせる画面が表示される場合があります。

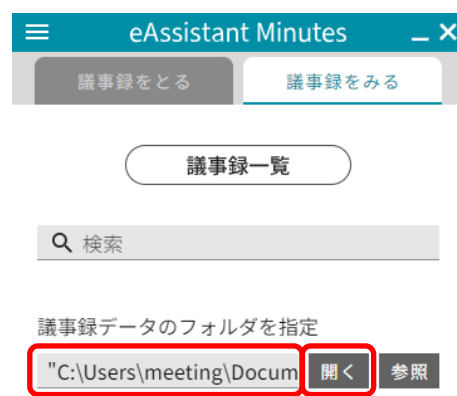
9.1.2. 他の人が作成した議事録データから議事録をみる

議事録データを指定して議事録をみることができます。

参照ボタンを選択するとファイルダイアログが表示されるので、そこでフォルダを選択すると議事録ウィンドウが開きます。

入力エリアに議事録データのフォルダパスを入力後、開くボタンをクリックすると、議事録ウィンドウが開きます。

議事録ウィンドウが開いた後に、最大化ボタンをクリックすると、議事録画面の全体が表示されます。



9.1.3. 議事録データのフォルダパスを知る

議事録データが格納されているフォルダを共有することで、コントロールアプリで文字おこしを行った PC 以外で過去の議事録を閲覧することができます

1. 議事録一覧画面で、フォルダのパスを確認したい議事録を選択します。
2. フォルダのパスをコピーできるアイコンが表示されます。
3. コピーアイコンをクリックすると、フォルダパスをクリップボードにコピーできます。
4. エクスプローラーのアドレスバーに、フォルダパスを入力して目的の議事録データフォルダにアクセスできます。



注意 保存時のフォルダパスから議事録データフォルダを移動した場合はフォルダパスが異なることがあります。

9.2. 会話音声を再生する

音声再生ボタンをクリックすると、会話音声は再生されます。

The screenshot shows the eAssistant Minutes application interface. At the top, there's a header with the title "eAssistant Minutes" and a search bar with the placeholder text "Enterで検索". Below the header, there's a navigation bar with tabs for "会議名" (Meeting Name) and "サンプル会議" (Sample Meeting). To the right of the navigation bar, there's a list of participants: "参加者" (Participants) followed by icons for "田" (Tanaka), "河" (Kawa), "中" (Naka), "斎" (Sai), and "宮" (Miyama). Below the navigation bar, there's a main content area divided into two panels. The left panel is titled "議事録" (Meeting Transcript) and contains a "生産状況報告" (Production Status Report) section. This section has two tabs: "議題1" (Topic 1) and "議題2" (Topic 2). Under "議題1", there are two toggle switches: "結論" (Conclusion) and "アクションアイテム" (Action Items). The "結論" toggle is currently turned on. Below the toggle switches, there's a list of action items. The right panel is titled "全ての会話" (All Conversations) and displays a list of conversation entries. Each entry includes a timestamp, a participant icon, and a text snippet. A red box highlights a "音声再生" (Audio Playback) button located next to the first conversation entry.

9.3. キーワード検索する

検索枠に、キーワードを入力することで議事録画面内を検索できます。

Enter キーを押下すると、キーワードの場所に移動します。

The screenshot shows a close-up of the search bar in the eAssistant Minutes application. The search bar is located at the top of the page and has a placeholder text "Enterで検索". A red box highlights the search bar, indicating where to enter the keyword.

9.4. 発話テキストをクリップボードにコピーする

「全ての会話」の中の各発話上で右クリックすることで、選択中の発話テキストをクリップボードにコピーできます。右クリックすると、画面下に「テキストがコピーされました！」というメッセージが表示されます。クリップボードにコピーすることで、テキストを別のアプリケーションにコピー＆ペーストするなど、テキストを活用できます。

9.5. 話者名を編集する

議事録画面で、話者名を編集することができます。参加者欄のアイコンをクリックすると、話者情報の編集のダイアログ画面が表示されますので、話者名を変更できます。

変更内容は、編集した話者の各発話の話者名と、エクスポートするデータに反映されます。



9.6. 議事録をエクスポートする

エクスポートボタンをクリックするとエクスポートの画面が開き、議事録をエクスポートすることができます。



①	エクスポートするデータ	エクスポートするデータを、議事録、全ての会話から選択できます。
②	保存先	参照ボタンをクリックして、保存先を選択します。
③	ファイル名	ファイル名を入力します。
④	ファイル形式	保存するファイルの形式を選択します。PDF 形式、テキスト形式、word 形式から選択できます。

10. 辞書を設定する

専門用語や人名等、文字おこしされにくい単語を辞書に単語を登録することで、音声認識の精度を向上することができます。辞書は2種類あり、本体に設定する標準辞書と、コントロールアプリで設定するユーザー辞書があります。組織内で共有の単語は標準辞書に、個別で利用する単語はユーザー辞書に登録するというように、会議に応じて利用する辞書を使い分けることができます。

標準辞書は管理者メニューから設定できます。起動時の画面で左上の三本線マークをクリックすると、メニューが表示されます。設定をクリックすると辞書設定のメニューが表示されます。辞書設定をクリックすると、辞書設定画面が表示されます。本体接続時のみ接続中の本体に設定されている標準辞書が表示されます。

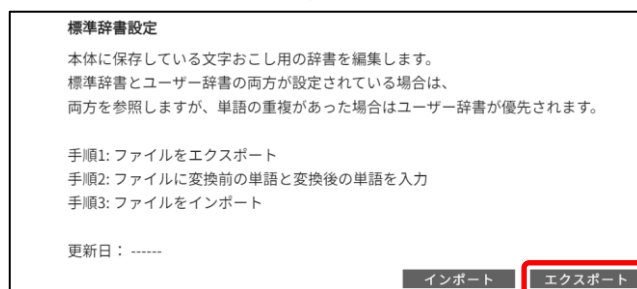


10.1. 標準辞書を設定する

標準辞書は本体に設定され、すべての「会議で文字おこし」及び「音声ファイルから文字おこし」の処理で適用されます。

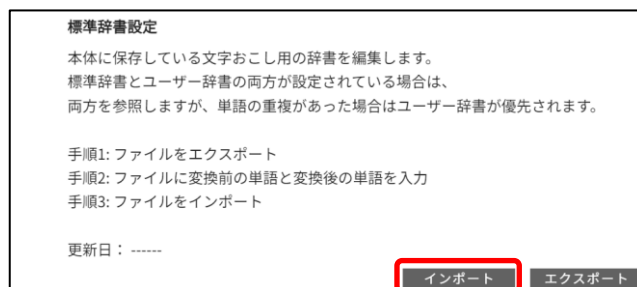
10.1.1. 管理者メニューで標準辞書を設定する

1. 管理者メニューを開きます（14.1 [管理者メニューを開く](#)）。
2. 「標準辞書設定」のエクスポートをクリックして、単語登録用のテンプレート（CSV ファイル）を取得します。

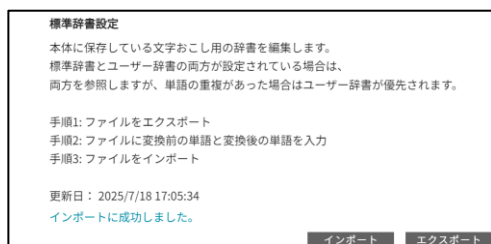


3. ダウンロードフォルダに保存された CSV ファイルを開き、変換前の単語と変換後の単語を追加します。
※既に標準辞書を設定済の場合は、設定された CSV ファイルが表示されます。
4. 「標準辞書設定」のインポートをクリックして、単語を追加した CSV ファイルを指定します。

	A	B
1	誤った単語	正しい単語
2	農期	納期
3	市販機	四半期



5. 「インポートに成功しました。」というメッセージが出たら成功です。



10.1.2. 標準辞書の有効・無効を切り替える

辞書は有効・無効を切り替える事ができます。無効に設定した辞書は、文字おこし時に適用されません。

本体に接続後、文字おこし開始前に左上の三本線をクリックし、辞書設定を開きます。辞書設定では、左側のチェックボックスにチェックを付けると有効、チェックを外すと無効となります。

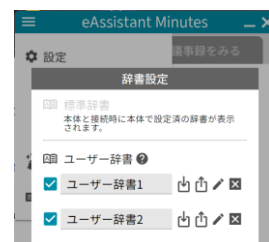


全ての辞書が有効



ユーザー辞書 1 のみが有効

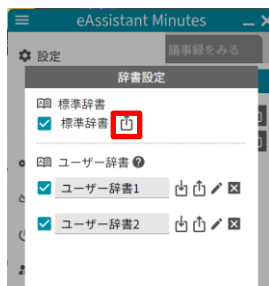
本体と接続していない場合は、ユーザー辞書のみ有効・無効の切り替えができます。



10.1.3. 標準辞書をエクスポートする

辞書設定のメニューから標準辞書をエクスポートすると標準辞書で登録されている単語を知ることができます。

本体接続後に辞書設定を開き、エクスポートボタンをクリックすると、CSV ファイルがダウンロードフォルダに保存されます。



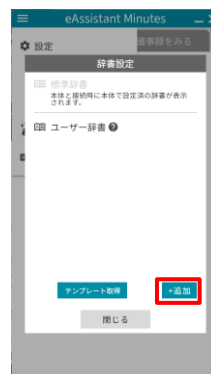
10.2. ユーザー辞書を設定する

10.2.1. ユーザー辞書を設定する

1. 辞書設定を開きます。



2. 追加ボタンをクリックし、ユーザー辞書を作成します。



3. テンプレート取得ボタンをクリックして、単語登録用のテンプレート（CSV ファイル）を取得します。



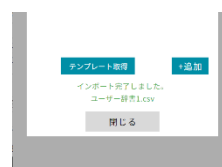
4. ダウンロードフォルダに保存された CSV ファイルを開き、変換前の単語と変換後の単語を追加します。

	A	B
1	誤った単語	正しい単語
2	農期	納期
3	市販機	四半期

5. インポートボタンをクリックし、単語を追加した CSV ファイルを指定します。

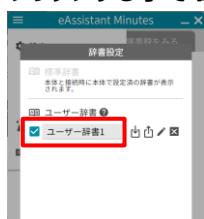


6. 「インポート完了しました。」というメッセージが出たら成功です。



※エラーメッセージが表示された場合は CSV ファイルを修正して再度インポートしてください。

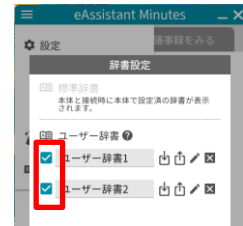
7. 追加したユーザー辞書は、ユーザー辞書名入力欄をクリックする事で名前を変更できます。



設定したユーザー辞書は、文字おこし開始時に本体に送信され文字おこし時に適用されます。

10.2.2. ユーザー辞書の有効・無効を切り替える

ユーザー辞書の有効・無効の切り替えは、各ユーザー辞書の左側のチェックボックスにチェックを付けると有効、チェックを外すと無効となります。無効に設定した辞書は、文字おこし時に適用されません。



10.2.3. ユーザー辞書の単語を編集する

ユーザー辞書は、CSV ファイルをインポートする他に、コントロールアプリで直接編集ができます。辞書設定画面で編集ボタンをクリックすると、単語編集画面が表示されます。



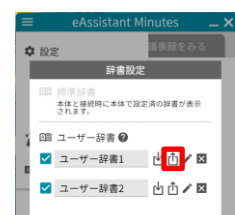
単語編集画面では、既に登録済の単語が表示されます。

- ① 追加ボタンをクリックすると赤枠の単語登録フォームが追加されます。
- ② 単語登録フォームに誤った単語、正しい単語のペアを入力します。
- ③ 削除ボタン(×)をクリックすると単語を削除できます。
- ④ ページめくりボタンをクリックすると他のページに移動できます。
- ⑤ 辞書の単語を検索する事ができます。
- ⑥ 保存ボタンをクリックすると編集が適用されます。



10.2.4. ユーザー辞書をエクスポートする

登録したユーザー辞書は、エクスポートする事ができます。以下のエクスポートボタンをクリックすると、ユーザー辞書の CSV ファイルがダウンロードフォルダに保存されます。



10.3. 辞書の制限

10.3.1. 辞書のフォーマット

- 一行目には単語を記載しないでください。
「CSV テンプレートの一行目は、1 列目に「誤った単語」、2 列目に「正しい単語」と入力しています。変更しないでください。
- 二行目以降に、誤った単語（変換前）と正しい単語（変換後）を入力します。
- ファイルフォーマットは UTF-8(BOM 付き)CSV ファイルです。（ファイル拡張子.csv）

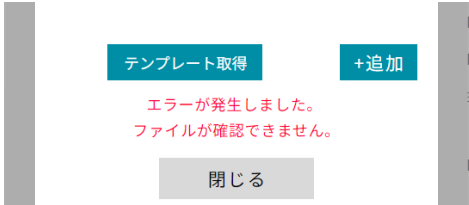
	A	B
1	誤った単語	正しい単語
2	農期	納期
3	市販機	四半期
4	特刊	突貫

また、テキストで編集する場合は、右のようにカンマで区切ってください。
保存するときは、エンコードは UTF-8(BOM 付き)で拡張子は csv で保存してください。

誤った単語,正しい単語
農期,納期
市販機,四半期
特刊,突貫

10.3.2. 辞書のエラーチェックについて

ファイルをインポートしたとき、エラーメッセージが表示される場合があります。
ファイルの拡張子や、ファイルのフォーマット、サイズを確認し、再度辞書ファイルを設定してください。
エラーメッセージが表示されたままですと、辞書の内容が文字おこしに反映されません。



10.3.3. 辞書の制限

- 注意
- CSV テンプレートファイルの一行目は、1 列目に「誤った単語」、2 列目に「正しい単語」と入力しています。変更しないでください。
 - CSV ファイルサイズは 1MB までとなっています。（1 ファイル 1MB まで）

10.3.3.1. 登録できる文字数

登録できる単語の文字数は、**2～30 文字**です。
「誤った単語」「正しい単語」のうち片方でも文字数を違反していると、そのペアは登録されません。

誤った単語	正しい単語
シナプス	Synappx
えーと	(半角スペース 1 つ)
うろこ	鱗
じゅげむじゅげむごころのすりきれかい じゅりすいぎよのすいぎょう	寿限無寿限無五劫の擦り切れ海 砂利水魚の水行

- OK : 登録される

OK : 登録される

NG : 登録されない

NG : 登録されない
- 両方、2～30 字に収まっている

正しい単語に 半角スペース 1 個を入れる

正しい単語が 1 字 であるため

誤った単語が 30 文字より大きい（31 字）ため

10.3.3.2. 単語の登録数

単語登録数の上限は 1 ファイルあたり 10000 語です。標準辞書、ユーザー辞書をあわせて単語登録数の上限は 10 万語です。上限を超えている場合は、辞書登録自体がキャンセルされ単語が 1 つも登録されません。

10.3.3.3. 使用できない文字

半角の「¥」は使用できません。ただし、全角の「 ¥ 」は登録できます。（「誤った単語」、「正しい単語」どちらも使用できません。）

誤った単語	正しい単語		
ありがとう	ありがとう¥n	NG : 登録されない	エスケープ文字 (¥n、¥b、¥f 等) は登録できない
3000 円	¥3000	NG : 登録されない	¥ : 半角の円マーク (=半角バックスラッシュ) が正しい単語にあるので登録できない
¥3000	3000 円	NG : 登録されない	¥ : 半角の円マーク (=半角バックスラッシュ) は登録できない
3000 円	¥ 3000	OK : 登録される	¥ : 全角の円マーク (=全角バックスラッシュ) は登録できる

10.3.3.4. 単語の重複

「正しい単語」が重複した場合でも問題なく登録されます。

ただし、「誤った単語」が重複している場合は、リストの後の方の単語のペアが優先されます。

誤った単語	正しい単語		
あめりか	アメリカ	NG : 登録されない	誤った単語が重複しているため、登録されない
usa	USA	OK : 登録される	登録される (正しい単語が重複)
あめりか	USA	NG : 登録されない	誤った単語が重複しているため、登録されない
あめりか	米国	OK : 登録される	誤った単語が重複しているが、重複内の最後の行なので、登録される
ゆーえすえー	USA	OK : 登録される	登録される (正しい単語が重複)

10.3.3.5. 単語が空白の場合

「誤った単語」「正しい単語」のどちらかが空白となっている場合、そのペアは登録されません。

誤った単語	正しい単語		
にほん	日本	OK : 登録される	
		NG : 登録されない	誤った単語、正しい単語ともに空白のため、登録されない
	イギリス	NG : 登録されない	誤った単語が空白のため、登録されない
えじぶと	エジプト	OK : 登録される	

10.3.4. 辞書の優先について

「誤った単語」として同じ単語が複数の辞書に登録されている場合、以下の優先度で文字おこしに反映されます。

(ア) 標準辞書とユーザー辞書に同じ単語が登録されている場合

→ ユーザー辞書が優先されます。

(イ) ユーザー辞書が 2 つ以上登録されていて同じ単語が複数のユーザー辞書に登録されている場合

→ ユーザー辞書の一覧で下に表示されている辞書が優先されます。

(ウ) 一つの辞書に同じ単語が複数登録されている場合

→ 辞書の中で後ろの単語が優先されます。

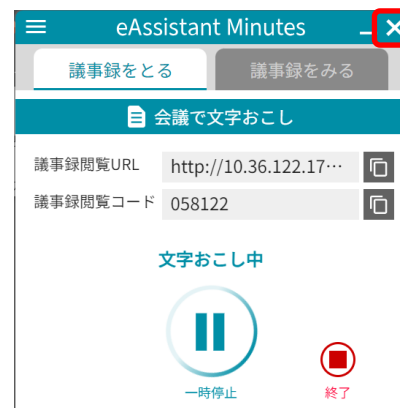
11. 会議で文字おこし中に、コントロールアプリの PC を変更する（操作者の交代）

会議で文字おこし中に、コントロールアプリが動作する PC を変更する際は、以下の手順で行います。

これにより、途中で会議を中座する場合に、文字おこしを途中で中止することなく操作者の交代をすることができます。

1. 文字おこし中のコントロールアプリで、録音状態のまま、右上の×アイコンをクリックし、アプリを終了します。

（アプリ終了後も文字おこしの状態は続いています）



2. 操作を引き継ぐ PC で、コントロールアプリを起動し、手順 1.で文字おこし中の本体に接続します。



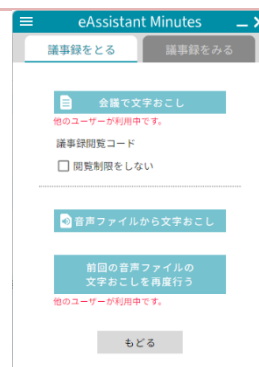
3. 「会議で文字おこし」をクリックします。



注意

コントロールアプリで「会議で文字おこし」で接続中に、別の PC のコントロールアプリが同じ本体に接続できません。

コントロールアプリの操作者を交代する場合は、前の操作者は必ず文字おこしの状態のまま右上の「×」アイコンをクリックしてアプリを終了するようにしてください。



12. ソフトウェアアップデートをする

12.1. 本体のソフトウェアのアップデート

本体のアップデートには自動・通知・手動の 3 つのモードがあり、「14. [管理者メニュー](#)」から設定できます。

- 注意**
- ソフトウェアの更新の確認および、更新データのダウンロードは、インターネットに接続されている必要があります。
 - 管理者メニューを表示するにはパスワードが必要です。

12.1.1. 自動モード

本体ソフトウェアの更新を自動的に確認し、更新可能な場合はバックグラウンドで更新データがダウンロードされ、アプリの左上の三本線マークの横に通知アイコンが表示されます。

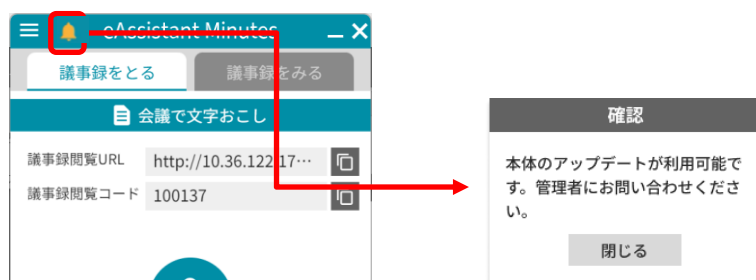
- メニューから本体の電源を OFF する時に、更新がある場合、確認ダイアログが表示されます。
- ダイアログ画面で「更新して電源 OFF」を選択した場合、更新が開始され、更新終了後に自動的に本体の電源が OFF になります。

注意 本体の自動電源 OFF 設定（14.2 [設定](#)）を ON にしている場合、自動電源 OFF 時には更新は適用されません。メニューから本体を電源 OFF したときにのみ適用されます。



12.1.2. 通知モード

本体ソフトウェアの更新を自動的に確認し、更新可能な場合はバックグラウンドでダウンロードされ、アプリに通知アイコンが表示されます。



管理メニューの本体ソフトウェアアップデート設定で、更新ボタンをおして、更新します。（12.2 [更新ボタンから本体のソフトウェアをアップデートする](#)参照）

12.1.3. 手動モード

管理メニューの本体ソフトウェアアップデート設定で、更新ボタンをおして、更新します。（12.2 [更新ボタンから本体のソフトウェアをアップデートする](#)参照）最新版の情報は、[eAssistant Minutes ダウンロードページ](#)をご確認ください。

12.2. 更新ボタンから本体のソフトウェアをアップデートする

管理者メニューから、本体ソフトウェアアップデートを行うことができます。

管理者メニューの本体ソフトウェアアップデート設定で「更新」をクリックすると、更新ソフトウェアのダウンロード状況によって 3 種類の画面に遷移します。

① 本体に更新ソフトウェアがダウンロード済の場合

本体ソフトウェアアップデート設定が「自動」か「通知」の場合に表示されます。

「はい」を選択すると、ソフトウェアアップデートを開始します。

「アップデート完了後、本体の電源を切る。」にチェックを入れて開始すると、終了後に本体の電源が OFF になります。

② 本体に更新ソフトウェアがダウンロードされていない場合

本体側で更新の確認ができているときに表示されます。

現在利用中の本体ソフトウェアのバージョンと、最新バージョン番号を表示します。

以下の 2 つの方法で本体ソフトウェアのアップデートを行うことができます。

1. 本体側で更新ソフトウェアをダウンロードして更新

「本体側で取得して更新」を選択すると、①の画面が表示され、「はい」を選択すると、本体が更新ソフトウェアをダウンロードして更新が行われます。

注意 本体がインターネットに接続されている必要があります。

2. PC 側で更新ソフトウェアをダウンロードして更新

コントロールアプリが起動する PC 側で更新ソフトウェアをダウンロードして本体に送信することでアップデートを行うことができます。ボタンをクリックすると PC 側で更新ソフトウェアをダウンロードして更新する画面が表示されます。

(12.2.1 [PC 側で更新ソフトウェアをダウンロードして本体を更新する](#)参照)

③ 本体に更新ソフトウェアがダウンロードされておらず、更新を確認できない場合

本体ソフトウェアアップデート設定が「手動」の場合に表示されます。本体がインターネットに接続されておらず、更新の確認ができないときは、最新の項目は「情報は確認できません」が表示されます。最新版の情報は、[eAssistant Minutes ダウンロードページ](#)をご確認ください。

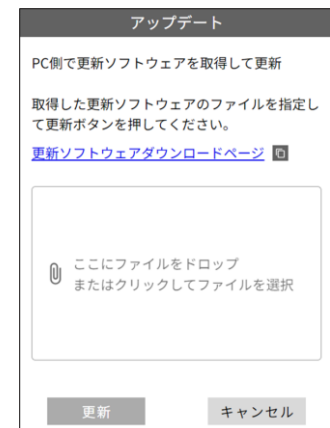
「はい」を選択すると PC 側で更新ソフトウェアをダウンロードして更新する画面が表示されます。(12.2.1 [PC 側で更新ソフトウェアをダウンロードして本体を更新する](#)参照)

12.2.1. PC 側で更新ソフトウェアをダウンロードして本体を更新する

コントロールアプリが起動する PC で更新ソフトウェアをダウンロードし、本体に送信することで、本体のアップデートを行うことができます。

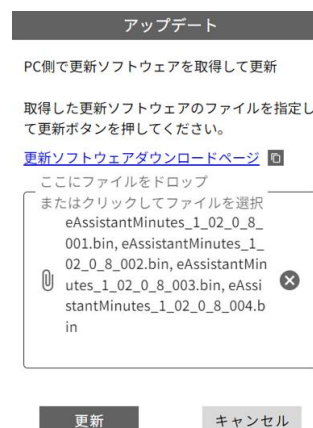
更新ソフトウェアは、[本体用更新ソフトウェアダウンロードページ](#)から取得できます。

更新ソフトウェアのファイルは分割されています。すべてのファイルが必要ですので、必ず全ファイルをダウンロードしてください。



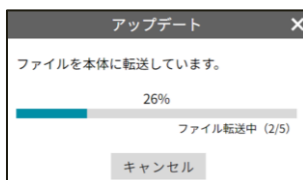
4. ダウンロードしたファイルを指定して更新

ダウンロードした更新ソフトウェアファイルを枠内にドラッグ & ドロップします。枠内をクリックし、ファイルダイアログから指定する事もできます。全てのファイルを指定してください。ファイル指定後、更新ボタンをクリックしてください。



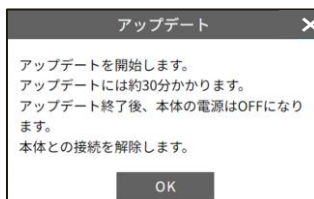
5. ファイルを本体に送信

本体にファイルが送信されます。
送信中は接続をさらないでください。



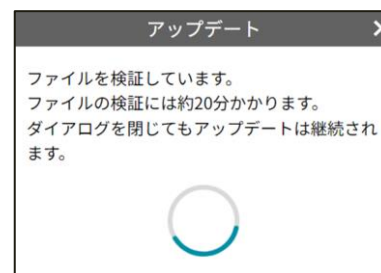
(ファイル検証 OK のとき)

アップデートを開始します。本体との接続が解除されます。



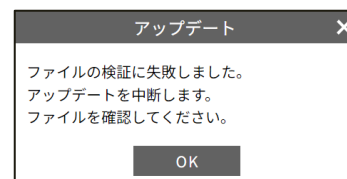
6. 本体側でファイルの検証

送信されたファイルの検証が行われます。



(ファイル検証 NG のとき)

アップデートせず、本体との接続が解除され、本体の電源が自動で切れます。更新ソフトウェアファイルを確認して再度おこなってください。



注意

- ファイルを本体に送信中に接続が切れた場合は、初めからやり直してください。
- 本体側でアップデート中に本体の電源 OFF 等で処理が中断された場合は、本体再起動後に自動で更新を開始します。本体の電源を ON してください。

12.2.2. 本体アップデート終了後の確認について

本体アップデート後は、ソフトウェアアップデート設定で前回の処理結果を確認できます。

本体ソフトウェアアップデート設定

本体アップデート時の更新ソフトウェアを、本体側で取得する方法と、コントロールアプリが動作するPC側で取得して本体に送信する方法があります。
本体側で更新の確認または更新ソフトウェアを取得するには、本体がインターネットに接続している必要があります。

☐ 自動

本体ソフトウェアの更新を自動的に確認し、更新が利用可能な場合はバックグラウンドでダウンロードされます。電源OFF時に更新の適用が行われます。

☐ 通知

本体ソフトウェアの更新を自動的に確認し、更新が利用可能な場合はバックグラウンドでダウンロードされ、アプリに通知されます。
「更新」ボタンを押すことで、更新を適用できます。

☒ 手動

「更新」ボタンを押すことで、更新が行われます。

前回の処理結果：2025/07/23 12時34分 v1.02.0.8へのアップデートに成功しました。

更新

12.3. コントロールアプリのアップデート

コントロールアプリを本体に接続した際、アプリのアップデートが必要な場合はダイアログ画面が表示されます。

詳細は、「[5.4.5 接続ボタンをクリックした後 バージョンエラーのメッセージが表示された場合](#)」

13. メニュー

メニューでは様々な設定、情報の確認ができます。

左上の三本線マークをクリックすると、メニューバーを開きます。本体との接続状態でメニューの内容が変わります。

● 未接続



● 本体に接続（会議で文字おこし）



①	設定	設定をクリックすると、フォルダ設定、辞書設定が表示されます。
②	フォルダ設定	データの保存先を指定します。
③	辞書設定	専門用語や人名等、文字おこしされにくい単語を予め登録しておく機能です (「 10. 辞書を設定する 」参照)
④	接続先リストの初期化	接続先のリストを初期化できます。(「 5.4.1. 接続先を検索して接続する 」参照)
⑤	本体との接続用の PIN	本体と接続用の PIN を表示します。
⑥	本体との接続解除	本体との接続を解除し、スタートメニューに戻ります。
⑦	本体の電源 OFF	本体の電源を切ります。
⑧	管理者メニュー	管理者メニューを開きます (「 14. 管理者メニュー 」参照)
⑨	アプリについて	各情報を確認できます。(※)

※「アプリについて」で確認できること

コントロールアプリ Version	コントロールアプリのバージョンを確認できます。
本体 Version	本体のソフトウェアのバージョンを確認できます。
ソフトウェア利用許諾契約書	ソフトウェアの利用許諾契約書を確認できます。
利用しているソフトウェアの ライセンス情報	利用しているソフトウェアのライセンス情報を確認でき ます。
ユーザーマニュアル	ユーザーマニュアル（外部サイト）を確認できます。



14. 管理者メニュー

14.1. 管理者メニューを開く

会議で文字おこしで接続後に左上の三本線マークをクリックすると、メニューが表示されます。

注意 管理者メニューは、会議で文字おこしのモードで接続時のみ表示されます。

管理者メニューをクリックすると、パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力すると、管理者メニューの画面が表示されます。

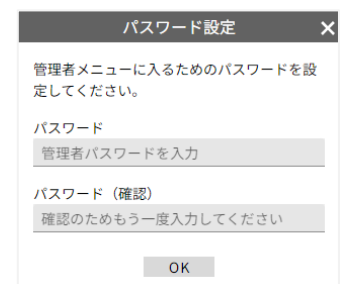


14.1.1. 管理者メニューのパスワードを入力する

管理者メニューをクリックしたとき、パスワード入力画面が表示されます。

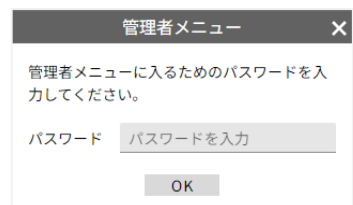
- **パスワード未設定時**

パスワードを設定する画面が表示されます。パスワードを入力後に OK ボタンをクリックしてください。



- **パスワード設定後**

パスワードを入力して OK ボタンをクリックしてください。



14.2. 設定

管理者は、各設定を行う事ができます。

eAssistant Minutes

設定

本体名

ここに本体名を表示

変更

本体時刻設定

「設定」ボタンを押すことで、PCの時刻を本体の時刻として設定します。

本体の時刻 2025/7/9 11:14:59

設定

標準辞書設定

本体に保存している文字おこし用の辞書を編集します。

標準辞書とユーザー辞書の両方が設定されている場合は、両方を参照しますが、単語の重複があった場合はユーザー辞書が優先されます。

手順1: ファイルをエクスポート

手順2: ファイルに変換前の単語と変換後の単語を入力

手順3: ファイルをインポート

更新日: 2025/7/3 14:30:30

インポート

エクスポート

☒ PINコード

123456

コントロールアプリから本体に接続するための6桁の数字を変更できます。

変更

ネットワーク設定

☐ 自動

☒ 手動

IPアドレス

ネットマスク

ゲートウェイ

優先DNS

代替DNS

変更

☒ プロキシ設定

プロキシサーバー

ポート

変更

パスワード変更

パスワード

Password

(半角英数字 5-20文字)

パスワード (確認)

Confirm Password

(半角英数字 5-20文字)

変更

☐ 異常発生時に議事録データを削除する

議事録データには以下が含まれます。

☒ 音声ファイル

☒ 議事録ファイル

設定をONにすると、異常発生時、文字おこし開始から異常発生時までの議事録データを削除します。

データを管理

☒ 議事録閲覧WebアプリへのアクセスにHTTPSを使用する

議事録閲覧ビューにアクセスするPCに証明書をインストールする必要があります。

「証明書を作成」ボタンで、新たな証明書を作成できます。

「証明書を取得」ボタンから証明書をダウンロードできます。

証明書を作成

証明書を取得

☒ 本体の自動電源OFF設定

本体の電源をOFFにする時刻を設定します。

ただし、設定した時刻に文字おこしが行われている場合は電源OFFにしません。

設定を有効にすると、文字おこし終了時の電源OFF確認は行いません。

電源OFF時刻 0 時 0 分

前回の処理結果: -----

変更

本体ソフトウェアアップデート設定

本体アップデート時の更新ソフトウェアを、本体側で取得する方法と、コントロールアプリが動作するPC側で取得して本体に送信する方法があります。

本体側で取得するには、本体がインターネットに接続している必要があります。

☐ 自動

本体ソフトウェアの更新を自動的に確認し、更新が利用可能な場合はバックグラウンドでダウンロードされます。電源OFF時に更新の適用が行われます。

☐ 通知

本体ソフトウェアの更新を自動的に確認し、更新が利用可能な場合はバックグラウンドでダウンロードされ、アプリに通知されます。

「更新」ボタンを押すことで、更新を適用できます。

☒ 手動

「更新」ボタンを押すことで、更新が行われます。

更新

メンテナンスモード

サービスマンによるサポート時に利用する機能です。

メンテナンスモードON

①	本体名	本体名を設定します。変更ボタンを押すと反映されます。
②	本体時刻設定	コントロールアプリが動作する PC の時刻を本体の時刻として設定できます。
③	標準辞書設定	本体が記憶する標準辞書を設定できます。
④	PIN コード	コントロールアプリから本体に接続する際に PIN コードを入力させるかどうかを設定できます。ON にすると、コントロールアプリで接続ボタンをクリック後、PIN 入力の画面が表示されて、正しい PIN コードを入力したときのみ本体に接続できます。PIN コードは 6 桁の数字で、設定を ON にしたときにコードを指定できます。入力後に変更ボタンをクリックすると反映されます。
⑤	ネットワーク設定	自動/手動を選択できます。手動を選択した場合は、各項目を入力後、変更ボタンを押すと反映されます。自動を選択した場合は、DHCP により IP アドレスが割り振られます。 注意 ネットワーク設定を変更したときは、設定を完了するために再接続が必要です。変更ボタンをクリックしたときに、ダイアログ画面が表示され、ダイアログ画面で「はい」のボタンをクリック後に本体との接続が解除されますので、5 分以内に新しい設定で接続してください。 接続しない場合は、元の設定に戻ります。
⑥	プロキシ設定	プロキシを設定します。設定を ON にして、プロキシサーバーの IP アドレスとポート番号を入力し、変更ボタンをクリックすると反映されます。
⑦	パスワード変更	管理者メニューにアクセスするためのパスワードを変更します。変更ボタンをクリックすると反映されます。
⑧	動作中に異常が発生すると、議事録データを削除する	設定を ON にすると、動作中に異常が発生した場合、その時点で存在した議事録データ（文字おこしデータおよび音声データ）を削除します。OFF の場合、議事録データが本体に残ります。「データを管理」機能で取り出し及び削除できます。
⑨	議事録閲覧 Web アプリへのアクセスに HTTPS を使用する	設定を ON にすると、議事録閲覧 Web 画面へのアクセスに HTTPS を使用します。（HTTPS 接続については、「14.3 議事録閲覧 Web アプリへのアクセスに HTTPS を使用する 」参照）
⑩	本体の自動電源 OFF 設定	設定を ON にすると、指定の時間に本体の電源が自動で切れます。 ただし、指定した時間に、「会議で文字おこし」や「音声ファイルから文字おこし」を行っている場合、電源は自動で切れません。

⑪	ソフトウェアアップデート設定	自動、通知、手動の3つのモードがあります。(「12.1. 本体のソフトウェアのアップデート」参照) 自動：本体ソフトウェアの更新を自動的に確認し、更新可能な場合はバックグラウンドで更新データがダウンロードされ、アプリに通知されます。メニューから本体の電源を OFF する時に更新のダイアログ画面が表示され、更新できます。 通知：本体ソフトウェアの更新を自動的に確認し、更新可能な場合は更新データがバックグラウンドでダウンロードされ、アプリに通知されます。「更新」ボタンを押すことで、更新できます。 手動：「更新」ボタンを押すことで、本体ソフトウェアの更新を行う事ができます。アップデートが行われた時は、その処理結果を表示します。 注意 更新の確認・バックグラウンドでのデータのダウンロードにはインターネット接続が必要です。
⑫	メンテナンスモード	サービスマンがオンサイトで作業する際に利用するメニューです。「メンテナンスモード ON」ボタンを押すと、作業に必要なワンタイムパスワードが生成されます。

14.3. 議事録閲覧 Web アプリへのアクセスに HTTPS を使用する

設定を有効にすると議事録閲覧 Web アプリの接続を暗号化することができます。

14.3.1. HTTPS を使用した場合としない場合の違い

設定を有効にした場合、議事録閲覧 Web アプリにアクセスしようとする PC それぞれに、事前に証明書をインストールする必要があります。

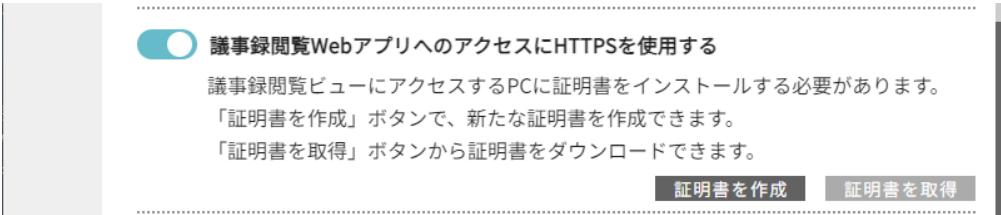
また、ブラウザから議事録閲覧 Web アプリに接続する際の URL が http:// ではなく、https:// から始まるようになります。

HTTPS を使用しなかった場合	HTTPS を使用した場合
http:// 10.36.122.225:3000/	https:// 10.36.122.225:3000/

14.3.2. 証明書の作成・取得方法

議事録閲覧 Web アプリへのアクセスに HTTPS を使用するを有効にした後、「証明書を作成」をクリックします。証明書の作成が完了すると、証明書ファイルが(***.crt)が PC のダウンロードフォルダに保存されます。保存された証明書ファイルを議事録閲覧 Web アプリに接続する各 PC でインストールします。

以前に証明書を作成したことがある場合、「証明書を取得」をクリックすることで、同じ証明書を PC にダウンロードできます。

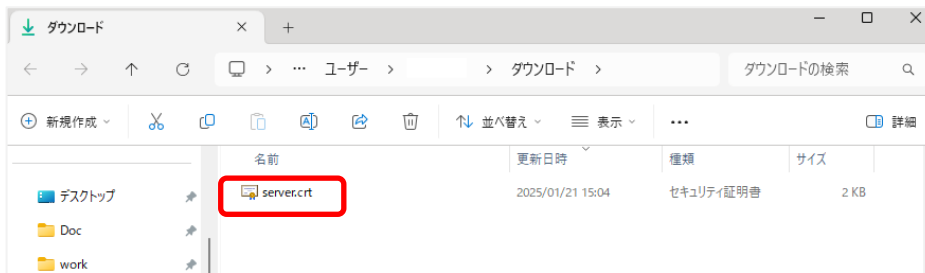


注意

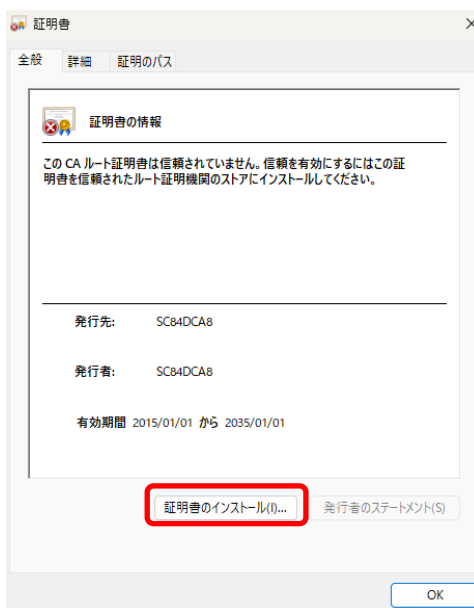
- 本体の IP アドレスが変わった場合は、新しく証明書を作成する必要があります。新しく証明書を作成した場合、以前の証明書は無効となり、議事録閲覧 Web アプリにアクセスしようとする 全ての PC で証明書の再インストール が必要となります。
- 証明書はブラウザ側の制限により有効期限が切れることがあります。その場合は、証明書を再度作成し、証明書のインストールを再度行ってください。

14.3.3. 証明書のインストール方法

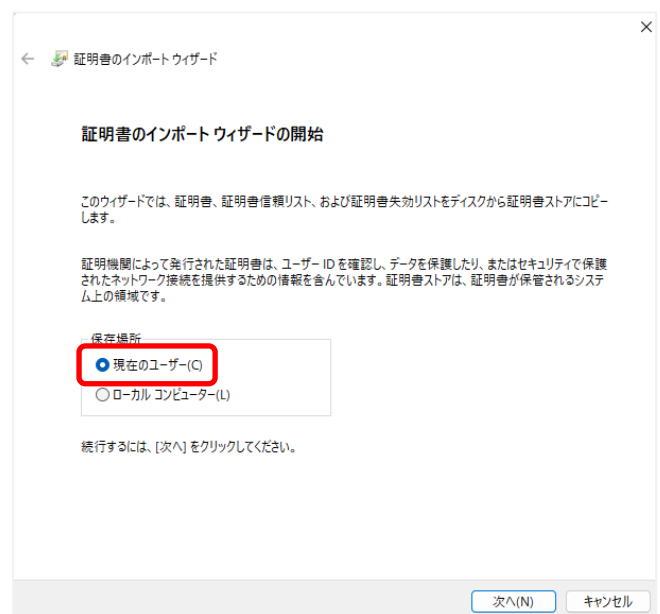
1. 「14 管理者メニュー」からエクスポートした server.crt をダブルクリックします。



2. 証明書のインストールをクリックします。



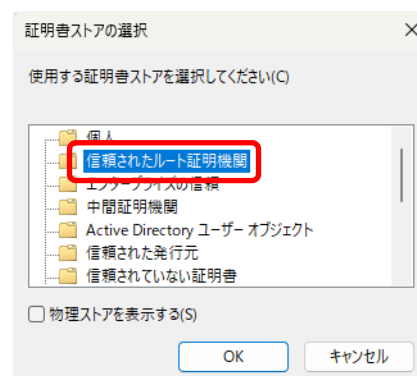
3. 現在のユーザーを選択し、次へをクリックします。



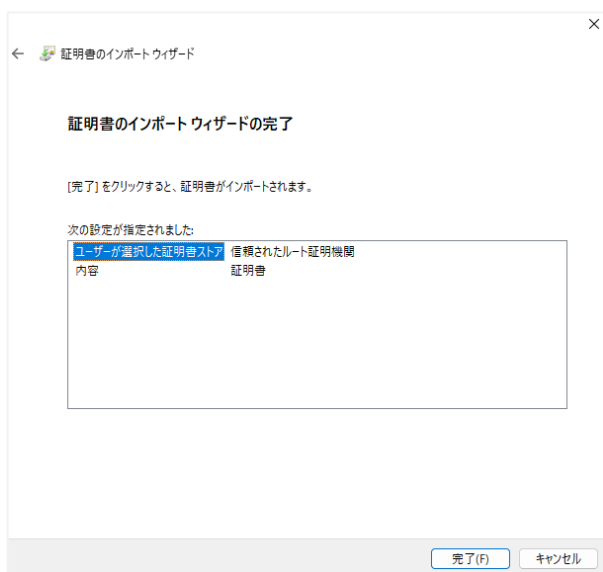
4. 証明書をすべて次のストアに配置を選択し、参照をクリックします。



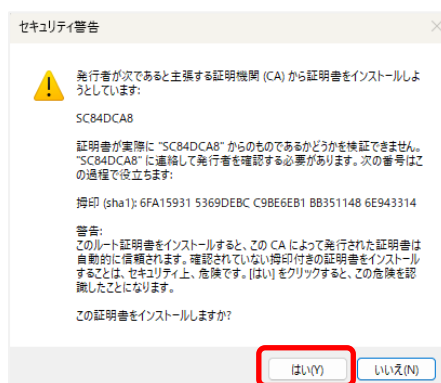
5. 信頼されたルート証明機関を選択し、OK をクリックします。



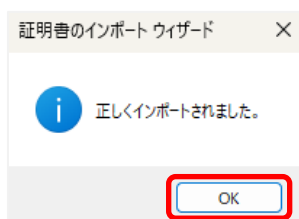
6. 完了をクリックします。



7. はいをクリックします。



8. OK をクリックします。



14.3.4. 証明書をインストールしない場合

議事録閲覧 Web アプリにアクセスしようとする PC に、証明書がインストールされていない場合、ブラウザから本体に接続した際に、プライバシーエラー画面が表示されます。証明書をインストールできない場合、以下の手順で議事録画面を閲覧できます。

1. 「詳細設定」をクリックします。



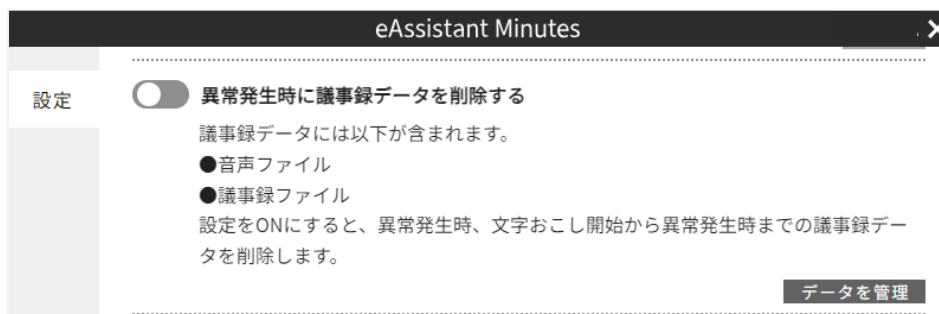
2. 「IP アドレスに進む（安全ではありません）」をクリックします。



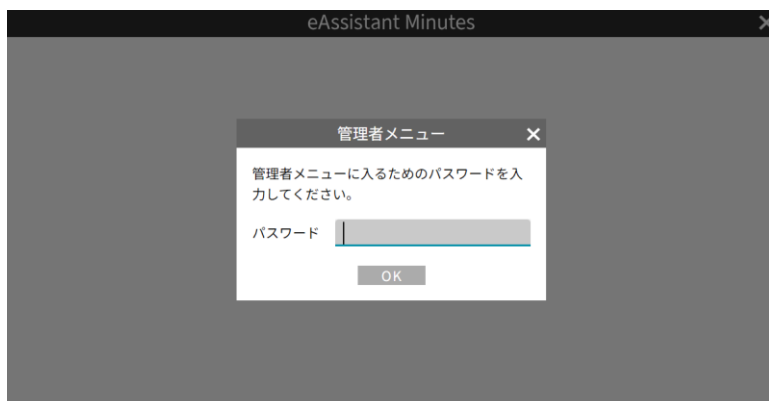
14.4. 本体内の議事録データを取り出す

「管理者メニュー」で異常発生時に議事録データを削除する設定がオフの場合、PC への保存に失敗した議事録データを手動で取り出すことができます。

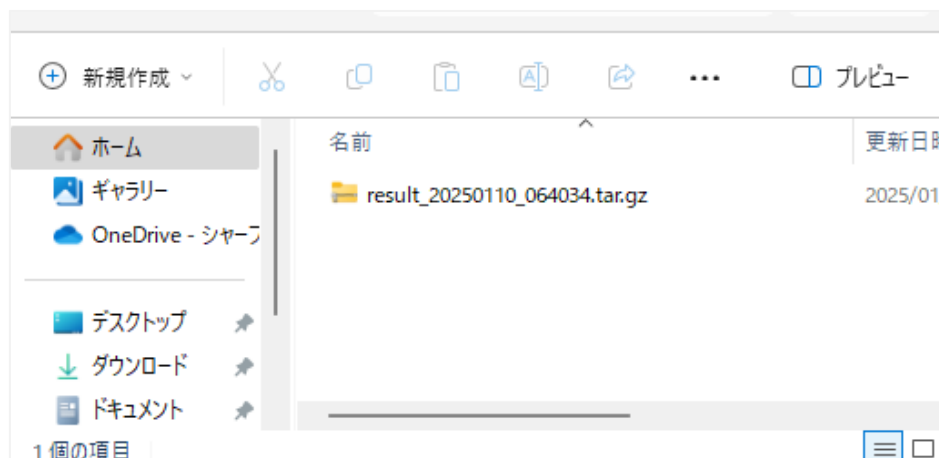
1. 「異常発生時に議事録データを削除する設定」の「データを管理」をクリックします。



2. 管理者メニューのパスワードを入力します。



3. エクスプローラーで本体内の議事録データフォルダが表示されます。ファイル名に含まれる会議日時を参考に、必要な議事録データを取得してください。*.tar.gz は解凍してください。



注意 エクスプローラーで本体内の議事録データフォルダ表示後に、文字おこしを開始するときはエクスプローラーの本体内の議事録データフォルダは閉じてください。保存に失敗することがあります。

15. 制限事項

項目	説明
生成 AI モデルの使用条件	Meta 社の Llama 3 および Swallow LLM Team の Llama3.1-swallow を使用しています。(Built with Meta Llama 3, Built with Llama) お客様は Meta Llama 3 Acceptable Use Policy (https://www.llama.com/llama3/use-policy/)、Llama 3.1 Acceptable Use Policy(https://www.llama.com/llama3_1/use-policy/)、および Gemma Terms of Use(https://ai.google.dev/gemma/terms) に抵触する用途にこの製品を使用することはできません。Meta 社およびその関連会社はこの製品に関して一切責任を負いません
一回の最大連続文字おこし可能時間	最大連続利用時間として 24 時間を想定しています。 24 時間以降の動作や性能については保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
文字おこし中、本体とコントロールアプリのネットワーク接続が切れた場合	5 分以上接続が切れると復帰できないことがあります。復帰できない場合、議事録データが消失する可能性があります。
音声認識	文字おこし結果には誤りが含まれる可能性がありますので、必ず出力結果を確認してください。次のケースでは、音声認識率が低下することがあります。 ● あまりに音声が小さい／大きい場合 ● マイクから音源が遠いなど適切にマイクを使用していない場合 ● マイクの位置が近すぎる場合 ● 收音する音声デバイス／入力する音声ファイルの音質が悪い場合 ● 音の残響が長い場合 ● 周囲の環境が騒がしい／ノイズを多く含む場合 ● 複数人が同時に発話した場合 ● 発話音声に区切りがなく 1 分以上発話した場合 ● 「うん」「はい」等の相槌のみまたは単語のみなど発話が短すぎる場合 ● ラフな口語口調・発話が明瞭でない場合 ● 方言がきつすぎる場合 ● 日本語以外の場合
話者分離	次のケースでは、正しく話者分離できないことがあります。 ● 1 回の会議の中で、発話する人数がマイク側・リモート側それぞれで 30 人を超える場合 ● 同じ声質の人が複数人いる場合 ● 同一人物が日本語と英語など異なる言語で発話したり、声質が異なったり、マイクとの位置が変わるなどした場合 ● 発話が短すぎる場合 他、「音声認識」の制限事項と同じ。

項目	説明
音声認識（音声デバイスについて）	動作確認済みデバイス以外を使用した場合、デバイスが認識できず、音声認識が行えないことがあります。また、デバイスの性能によっては、音声品質が不十分となり、正確な音声認識ができない場合があります。 マイクとスピーカーを別のデバイスで使用して WEB 会議を行う際、マイクとスピーカーの距離が近すぎる場合や、スピーカー音量が大きすぎる場合、スピーカーの音声マイクに認識され、音声重複して文字おこされることがあります。これにより、音声認識の精度が低下することがあります。
グースネックマイク	グースネックマイクは、別のマイクと組み合わせて使用することはできません。 グースネックマイク使用時のスピーカーとして、マイクスピーカー一体型デバイスを使用することはできません。
マイク・スピーカー	音声デバイス、マイクのレベルとスピーカーのボリュームは、コントロールアプリが動作する PC もしくはオーディオアダプターを接続した PC からは調節できません。
カメラ付きマイク・スピーカー一体型デバイス	カメラ付きマイク・スピーカー一体型デバイスを本体に接続したとき、カメラ映像は WEB 会議利用 PC には送信されません。
要約（会議中の自動要約）	要約には発話内容と合致しない内容を含むことがあります。 音声認識の精度が悪い時は、要約の精度も悪くなります。 次のケースでは、自動要約がでないことがあります。 ● 会話が少なすぎるとき。1500 文字以上の発話が必要です。
議事録作成	議事録には発話内容と合致しない内容を含むことがあります。 音声認識の精度が悪い時は、議事録の精度も悪くなります。 議題名を指定していない場合は、自動で議題名を作成します。 会議後に作成される議事録の項目のうち、結論、アクションアイテム、要約は、会議中に一つの議題の中で自動要約の生成が 5 回以上行われた場合に生成されます。短い会議や、議題を分けた場合は一つの議題の中での会話が少ない場合は、表示されないことがあります。
オンライン会議	本体に接続されたマイクデバイスを WEB 会議アプリのマイクデバイスとして利用する場合、本体の電源を ON にしていないと、WEB 会議上で音声通話できません。
ネットワーク環境	本体—コントロールアプリ間のネットワーク環境が悪い場合、正しく動作しない可能性があります。

16. eAssistant Minutes 本体について

16.1. 瞬時電圧低下について

eAssistant Minutes 本体は、一般社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満たしております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じる事があります。

16.2. 海外での使用について

本製品は国内向けになっております。海外ではご使用にならないください。

17. 困った時には

カテゴリ	問題	解決方法
コントロールアプリ	接続ボタンを押しても本体に接続できない。	本体の電源が ON になっているか確認してください。ネットワークの状態を確認してください。本体とコントロールアプリが動作する PC が同じネットワークであることを確認してください。IP アドレスを指定して接続する場合は、IP アドレスが正しいか確認してください。
	突然本体との接続がきれた。接続前の画面に戻った。	ネットワークの状態を確認し、再度接続ボタンを押してください。
	文字おこしされない。	文字おこし開始ボタンをクリックしてから文字おこしができるまで 1 秒ほどかかります。 オーディオアダプターからの USB ケーブルが本体に刺さっているか確認してください。 マイクデバイスが認識されているか確認してください。コントロールアプリで、設定ボタンをクリックし、有効なマイクが 0 個の場合は、デバイスを認識していません。デバイスの USB ケーブルが正しく本体に接続されているかを確認し、右横の更新ボタンをクリックしてください。0 個のままの場合は、一度本体の電源を OFF し、電源を ON してから再度接続してください。  マイクデバイスが認識されている場合は、デバイスの電源が ON されているか確認してください。 発話が日本語で無いと判断された場合、文字起こしを行いません。単語のみの発話など極端に短い場合は、文字おこしされにくいいため、文章で発話してください。
	音声デバイスが認識されない。	音声デバイスが本体と正しく接続されているか確認してください。改善しない場合は、一度本体の電源を OFF し、電源を ON してください。
	本体に「会議で文字おこし」で接続したら、すでにコントロールアプリ画面が文字おこし中だった。	別の操作者が文字おこし中にコントロールアプリを終了したり接続が切れているときに、同じ本体に「会議で文字おこし」で接続した場合に文字おこし中の画面になります。そのままアプリを終了して、前の操作者に文字おこしの操作を引き継ぐか、文字おこしを終了してください。

カテゴリ	問題	解決方法
コントロールアプリ	保存に失敗した。	保存中に異常が発生して保存に失敗し、管理メニューで「異常発生時に議事録データを削除する」の項目が OFF の場合は、データを取り出せる可能性があります。 (「 14.4. 本体内の議事録データを取り出す 」を参照)
	会議終了後、保存中が続き、保存が終了しない。	保存には時間がかかります。文字おこしの時間が長いほど保存に時間がかかります。10 分以上保存中のままの場合は、保存に失敗した可能性があります。アプリの右上の×ボタンをクリックしてアプリを終了してください。「保存に失敗した。」ときの解決方法を参照してください。
議事録ビューワー	議事録ビューワーにアクセスできない。アクセスエラーが表示される。	文字おこし中であること、URL が正しいことを確認してください。
	議事録ビューワーにアクセスできない。閲覧コード入力画面になる。	会議ごとに閲覧コードは変わります。コントロールアプリ操作者に現在の会議の閲覧コードを確認し、正しい閲覧コードを入力してください。
	「接続がプライベートではありません」という画面が表示された。	議事録画面への接続が HTTPS 接続になっています。 「 14.3. 議事録閲覧 Web アプリへのアクセスに HTTPS を使用する 」を参照してください。
	他の人の発言が別の人の発言として表示されたり、学習済の話者の発言が話者不明になったり、長く話しているのに話者が学習されずに話者不明になったりする。	AI 話者分離は、話し方や利用する環境の影響を受けるため、正しく分離できない場合があります。また、話者分離の人数の上限に達していると新しく話者を学習できません。「 15. 制限事項 」の話者分離の項目、「 5.9.2. 話者の学習について 」を参照してください。
オンライン会議	オンライン会議の相手の会話が文字おこしされない。	● Web 会議を実施している PC と、本体がオーディオアダプターを介してケーブルで正しく接続されているか確認してください。 ● 本体の電源が ON になっているか確認してください。 ● Web 会議アプリで、本体に接続されているマイクデバイスが選択されているか確認してください。(「6.2. Web 会議アプリでマイク・スピーカーデバイスを選択」参照)
	オンライン会議で、相手の声が聞こえない。こちらの声が聞こえてない。	
議事録をみる	[議事録をみる] 画面で、参照ボタンをクリックし、ファイルダイアログ画面で議事録データを指定したが、「指定したファイルが見つかりませんでした。」の ERROR 画面が表示された。	議事録データフォルダの参照パスが正しいかを確認してください。議事録データフォルダ内のデータや、ファイル名を編集した場合は、読み込めないことがあります。
	議題・結論・要約・アクションアイテムが生成されていない	議題、結論、アクションアイテム、要約は、会議中に自動要約の生成が 5 回以上行われた場合に生成されます。

カテゴリ	問題	解決方法
管理メニュー	パスワード設定画面が表示されて管理メニューが開けない。	管理メニューを開くにはパスワード入力が必要です。
	パスワードを忘れて管理者メニューが開けない。	お買い上げの販売店に相談してください。
議事録閲覧コード PIN 接続コード	コードが入力できない。	半角英数字モードにして入力してください。
音声ファイルから 文字おこし	対応ファイル形式をしりたい。	動画：WMV / AVI / MP4 / M4V 音声：WAV / MP3 / WMA / M4A / AAC
	途中で処理が終了してしまった。	「会議で文字おこしの処理」が優先されます。 音声ファイルから文字おこし中に、別の PC のコントロールアプリから同じ本体に接続して「会議で文字おこし」を選択すると、強制終了されます。会議の利用がないときに再度接続すると、「前回の音声ファイルの文字おこしを再度行う」というボタンが表示され、前回と同じファイルの処理を開始できます。
	文字おこし結果が空だった。	日本語の会話音声のみ文字おこしできます。音声ファイルに日本語の発話が全く検出できなかった場合、文字おこし結果が空になります。音声ファイルを確認してください。

シャープ株式会社